消防年報

平成29年版

南但消防本部

はしがき

この年報は、南但消防本部の消防現勢及び平成28年中の消防業務に関する事項について収録し、今後の消防業務の推進に関する基礎資料とするとともに、当本部の実態を紹介するために編集しました。

内容は、平成29年４月１日現在とし、予算及び予防関係については会計年度、火災・救急・救助関係については暦年、その他は必要に応じ当該表に記載年月日を表示しています。

また、平成24年度以前の統計については養父市消防本部、朝来市消防本部の合算により作成しています。

平成29年６月

南但消防本部

もくじ

南但消防本部の概要 …… 1
構成市の概要 …… 2
消防本部・消防署所の概要 …… 3
南但消防本部組織・階級別職員配置状況 …… 4
消防車両一覧 …… 5
沿革 …… 6
平成28年度中の主要行事 …… 12
おもな出来事 …… 14
一目統計 …… 16

【概要編】

管理 …… 18
予防 …… 19
　災害活動の概要
火災 …… 20
救急 …… 22
救助 …… 24
通信 …… 26

【統計資料編】

管理編

平成28年度予算状況 …… 29
平成28年度職員給与費等の実態 …… 29
階級別勤続年数 …… 30
年齢別職員構成 …… 30
研修派遣状況 …… 31
階級別資格取得状況 …… 32
平成27年度一般会計決算の概要 …… 33
消防相互応援協定等の締結状況 …… 34

予防編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物） …… 36
防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画） …… 37
確認申請処理状況 …… 38
消防教室実施状況 …… 38
危険物施設数及び立入検査回数 …… 39
危険物施設設置許可数及び変更許可の状況 …… 39
市別・数量別危険物施設数 …… 40
市別・類別危険物施設数 …… 40
各種届出等受理状況 …… 41

警防編

火災

年次別火災発生状況 …… 43
月別火災発生状況 …… 45
曜日別火災発生状況 …… 45
時間別火災発生状況 …… 46
使用した消防水利 …… 46
覚知から現場到着までの所要時間 …… 47
放水開始から鎮火までの所要時間 …… 47
出火原因 …… 48
用途別火災発生状況 …… 49

救急

年次別救急発生状況 …… 50
月別救急発生状況 …… 51
曜日別救急発生状況 …… 52
時間別救急発生状況 …… 53
覚知から現場到着までの所要時間状況 …… 54
覚知から医療機関収容までの所要時間状況 …… 54
年齢区分別･傷病程度別搬送人員 …… 55
ドクターヘリ･ドクターカー月別要請状況 …… 55
事故種別･収容医療機関状況 …… 56
地域別･収容医療機関状況 …… 56
救急隊の行った応急処置状況 …… 57
普通救命講習実施状況 …… 57

救助

年次別救助発生状況 …… 58
月別救助発生状況 …… 59
曜日別救助発生状況 …… 60
時間別救助発生状況 …… 61
事故種別･傷病程度別状況 …… 62

通信

気象の状況 …… 63

装備

消防用機器の配置状況 …… 64

各種団体

消防団組織図 …… 66
協力団体組織図 …… 67

南但消防本部の概要

1　位置と地勢

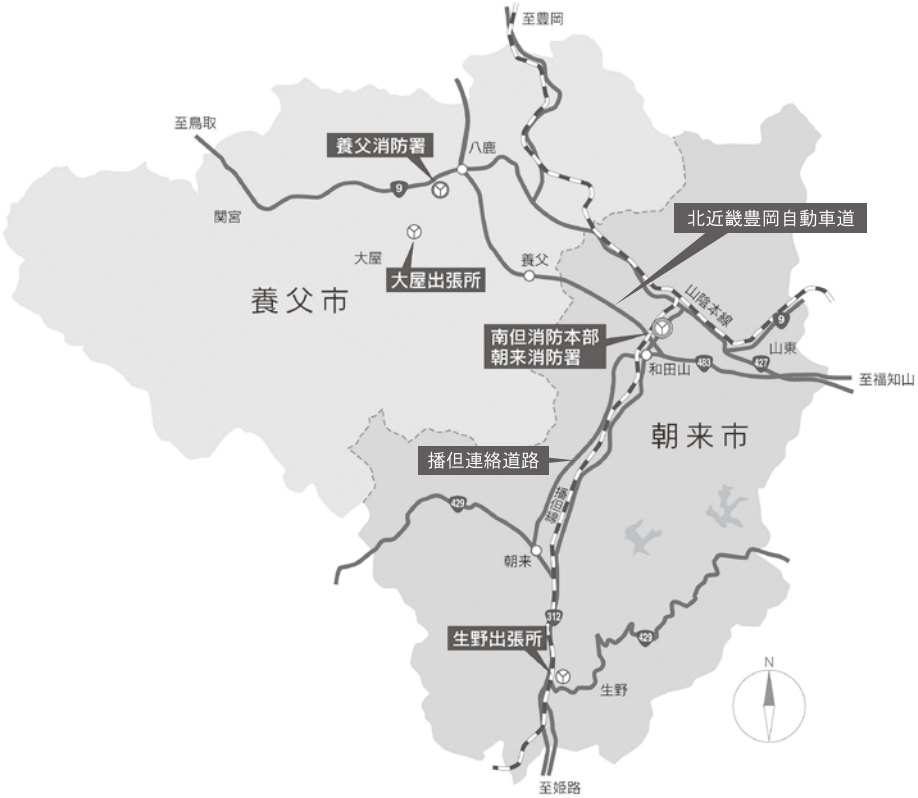
南但消防本部のある南但馬地域は兵庫県の北部に位置し、養父市及び朝来市の２市で構成されています。

道路交通網は、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道９号線及び427号線が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号線が南北に通っています。また、国道312号線に沿って播但連絡道路とJR播但線が通っており、さらに国道９号線に沿ってJR山陰線が通っています。平成29年３月に北近畿豊岡自動車道の八鹿氷ノ山IC～日高IC間が開通するなど、但馬山陰地方と京阪神とを結ぶ交通の要衝にあります。

河川は、市川が北から南に流れ瀬戸内海に注ぎ、一級河川の円山川が南から北に流れ日本海に注いでおり、兵庫県の南北の分水嶺となっています。

また、養父市には県下最高峰の氷ノ山を始め、鉢伏山、ハチ高原、若杉高原や妙見山がそびえ、朝来市には茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺跡、また、竹田城跡や生野銀山などの中世から近世にかけての史跡などが数多くあります。





2　管轄人口と世帯数

市町名	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(㎢)
養父市	24,552	9,584	422.91
朝来市	31,271	12,337	403.06
合　計	55,823	21,921	825.97

H29.3.31現在住民基本台帳人口による

構成市の概要

養父市　「響きあう心　世界へ拓く　結(ゆい)の郷　やぶ」

【市　章】

三角形は兵庫県最高峰の氷ノ山を象徴したもので、向かい合う２本のラインは、養父市を流れる大屋川、八木川を表している。

【市花】ミズバショウ

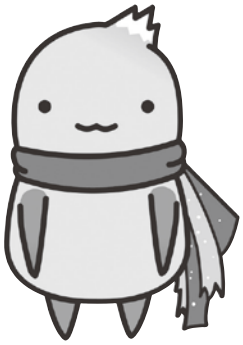
【市木】ブナ

【主な産業・経済】

大根、朝倉山椒等の農産物、但馬牛、八鹿豚などの畜産物

【観光・文化・歴史】

氷ノ山（兵庫県最高峰）、天滝（日本の滝100選）
明延鉱山、ハチ高原、名草神社三重塔
全日本ビバホールチェロコンクール



【養父市イメージキャラクター】
やっぷー

朝来市　「人と緑　心ふれあう　交流のまち　朝来市」

【市　章】

朝来市の頭文字である「ア」をモチーフとして、円は人々の交流を、太陽の光は４つの町を象徴し、緑豊かな山から朝日が昇ってくる様子を表現している。

【市花】さくら

【市木】けやき

【主な産業・経済】

金属製品製造業、金属バネ工業、岩津ねぎ

【観光・文化・歴史】

竹田城跡（日本100名城）、茶すり山古墳（近畿最大円墳）
生野銀山及び鉱山町の文化的景観、白井大町藤公園
神子畑鋳鉄橋（日本最古の全鋳鉄橋）



【朝来市マスコットキャラクター】
ちゃすりん

消防本部・消防署所の概要

消防本部・消防署

南但消防本部・朝来消防署

【住所】
朝来市和田山町枚田436番地の1
【建築年月】
昭和51年12月（平成16年9月耐震化工事完了）
（平成28年9月駐車場修繕工事完了）
【敷地面積】
2,651.4㎡
【構造】
鉄筋コンクリート造３階建一部鉄骨造



消　防　署

養父消防署

【住所】
養父市八鹿町高柳173番地
【建築年月】
昭和53年12月(平成26年12月耐震化工事完了)
【敷地面積】
1,368.81㎡
【構造】
鉄筋コンクリート造２階建



出　張　所

朝来消防署生野出張所

【住所】
朝来市生野町口銀谷222番地の1
【建築年月】
昭和52年11月
【敷地面積】
585.55㎡
【構造】
鉄筋コンクリート造２階建



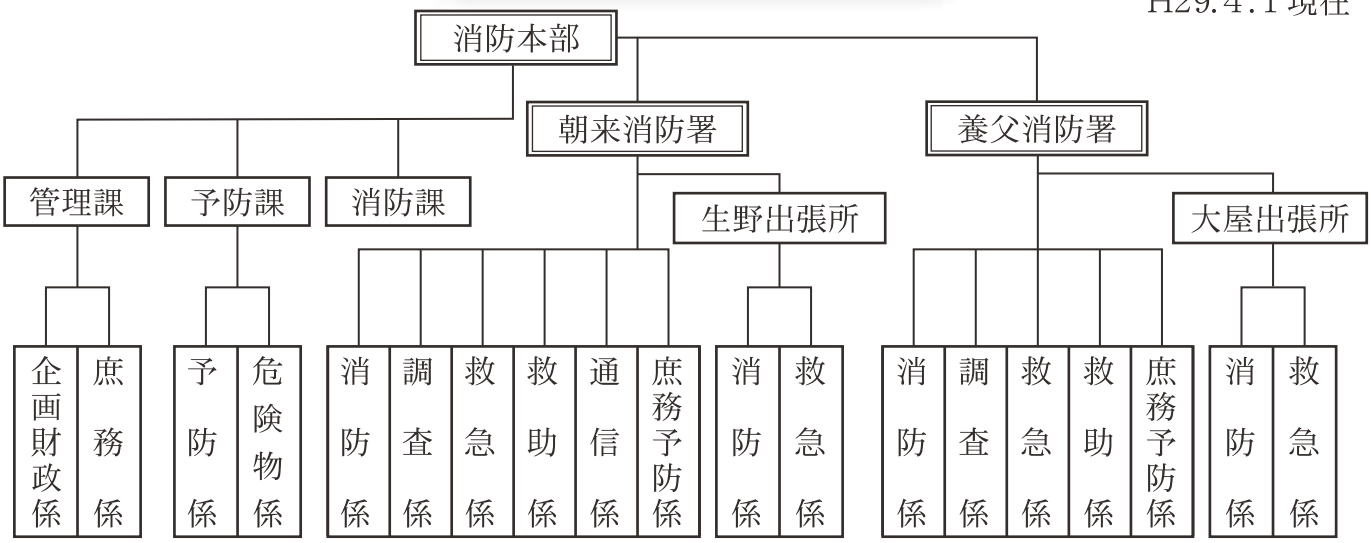
養父消防署大屋出張所

【住所】
養父市大屋町樽見549番地
【建築年月】
昭和54年12月
（平成26年8月耐震化（事務所棟建替）工事完了）
【敷地面積】
751.93㎡
【構造】
鉄骨造2階建



南但消防本部組織

H29.4.1現在



階級別職員配置状況

H29.4.1現在

区分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長 消防士	計
消防本部	消防長	1					1
	次長		1				1
	管理課		3	3		2	8
	予防課		4	2	1	2	9
	消防課		7	4			11
朝来消防署	署長		(1)				(1)
	副署長		2 (1)				2 (1)
	庶務予防係			(4)	(1)	(2)	(7)
	第一部		(3)	2 (5)	2 (1)	5	9 (9)
	第二部		(3)	4 (2)	2	5 (1)	11 (6)
	生野出張所 所長		1				1
	生野出張所 第一部		(1)	2		2	4 (1)
	生野出張所 第二部			3	1	1	5
養父消防署	署長		1				1
	副署長		(1)				(1)
	庶務予防係		(2)	(1)	2	1	3 (3)
	第一部		3	4	(2)	3	10 (2)
	第二部		2 (1)	4		4 (1)	10 (2)
	大屋出張所 所長		1				1
	大屋出張所 第一部		(1)	2	1	1	4 (1)
	大屋出張所 第二部			3	2		5
計		1	25(14)	33(12)	11 (4)	26 (4)	96(34)

※( ) は兼務職員を示す。

消防車両一覧

（平成29年3月31日現在）

種別			メーカー	導入年度	経過年数	エンジン
朝来消防署	1	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	日野	平成15年度	13年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	日野	平成15年度	13年	ディーゼル
	3	はしご付消防自動車15m級	日野	平成28年度	ー年	ディーゼル
	4	救助工作車Ⅱ型	日野	平成13年度	15年	ディーゼル
	5	高規格救急車	トヨタ	平成26年度	2年	ガソリン
	6	高規格救急車	トヨタ	平成24年度	4年	ガソリン
	7	高規格救急車	トヨタ	平成19年度	9年	ガソリン
	8	指揮車	トヨタ	平成19年度	9年	ガソリン
	9	指揮支援車	日産	平成21年度	7年	ガソリン
	10	広報車	トヨタ	平成23年度	5年	ガソリン
	11	カーゴトレーラー	シーマリン	平成21年度	7年	－
	12	司令車	ホンダ	平成21年度	7年	ハイブリット
生野出張所	13	水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-A型	三菱	平成14年度	14年	ディーゼル
	14	高規格救急車	トヨタ	平成21年度	7年	ガソリン
	15	指揮車	スズキ	平成24年度	4年	ガソリン
養父消防署	1	化学消防ポンプ自動車	日野	平成22年度	6年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	三菱	平成15年度	13年	ディーゼル
	3	救助工作車Ⅱ型	日野	平成18年度	10年	ディーゼル
	4	高規格救急車	トヨタ	平成25年度	3年	ガソリン
	5	高規格救急車	トヨタ	平成22年度	6年	ガソリン
	6	指揮車	トヨタ	平成19年度	9年	ガソリン
	7	広報車	トヨタ	平成21年度	7年	ガソリン
	8	司令車	トヨタ	平成25年度	3年	ガソリン
大屋出張所	9	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	トヨタ	平成23年度	5年	ディーゼル
	10	高規格救急車	トヨタ	平成20年度	8年	ガソリン
	11	指揮車	スズキ	平成25年度	3年	ガソリン

沿　　革

1　南但消防本部

年　　月	記　　事
平成25年　4月	南但消防本部発足（記念式典及び消防本部旗授与式挙行４/１）
	消防吏員４名を採用（条例定数98名）
	県下広域を含めて各消防応援協定を締結（詳細は34頁に掲載）
5月	消防救急デジタル無線実施設計着手
7月	消防本部の広報紙「ＮＡＮＴＡＮ１１９だより」創刊号を発行
11月	公用車を更新し養父消防署に配備
12月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備、指揮車を更新し大屋出張所に配備
平成26年　1月	南但消防本部として初めての出初式挙行
3月	大屋出張所耐震化工事着手
	朝来市及び養父市危険物安全協会解散総会開催
4月	消防吏員７名を採用（条例定数98名）
5月	南但危険物安全協会設立総会・記念式典
6月	消防救急デジタル無線工事着手
	消防職団員参集メールシステム運用開始
8月	大屋出張所耐震化工事完了
11月	消防センター改修工事
12月	養父消防署耐震化工事完了
平成27年　1月	阪神淡路大震災20年メモリアル訓練実施（南但消防本部）
	高規格救急自動車を更新し朝来消防署に配備
4月	消防吏員７名を採用（条例定数98名）
6月	朝来市自主防災推進協議会総会及び講演会開催
12月	女性消防職員仮眠室完成
平成28年　1月	消防救急デジタル無線試験運用開始
4月	消防救急デジタル無線正式運用開始
	消防吏員５名を採用（条例定数98名）
	熊本地震緊急消防援助隊派遣（４/16～４/22　救急小隊、後方支援隊　延べ　12名を派遣）
8月	第45回全国消防救助技術大会に南但消防本部として初出場
9月	朝来消防署アスファルト舗装修繕工事完了
11月	15mはしご付消防自動車を更新し朝来署に配備

2　旧朝来市消防本部の沿革

年　　月	記　　事
昭和51年　4月	朝来郡広域消防事務組合消防本部（署）を設置（新規採用18名を含む20名で消防業務開始）
	神戸市消防局から救急車（１Ｂ型）を借用
5月	救急車（デリカ）を配備（和田山ライオンズクラブから寄贈）
9月	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を配備、小型動力ポンプ付積載車（Ｂ２級ポンプ積載）を配備

昭和51年10月	初任科研修を修了した消防士15名を配置し、消防業務全般を開始
12月	和田山町枚田436番地１に消防本部庁舎竣工、移転
	救急車(２Ｂ型)を配備(日本損害保険協会から寄贈)
昭和52年 1月	消防用無線電話開局
4月	消防吏員14名を採用
6月	県道山東・柏原線の遠阪トンネル開通に際し、氷上郡青垣町と応援協定を締結
9月	査察広報車を配備
10月	消防ポンプ自動車(ＢＤ－Ｉ型)を配備
11月	生野町口銀谷222番地１に消防署生野出張所庁舎竣工。消防吏員９名を配置、消防ポンプ自動車(ＢＤ－Ｉ型)及び救急車(デリカ)を配備し消防業務開始
昭和53年 1月	本署屋外訓練場に訓練塔を建設
4月	消防吏員９名を採用(条例定数43名)。消防専用電話119番を消防本部に集中、同時に農協有線一斉放送設備を使用し、火災発生報知業務を開始。朝来郡危険物安全協会発足
12月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ｉ－Ｂ型)を本署に配備
昭和54年 3月	生野出張所にサイレン一斉吹鳴装置を設置
昭和55年 2月	救急車(２Ｂ型)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
4月	中播消防事務組合と応援協定を締結
11月	広報誌「119だより」創刊号を発行
12月	救急指令装置Ｃ型を整備
昭和56年 4月	兵庫県救急医療情報システムを導入
8月	第10回全国消防救助技術大会に初出場
昭和57年 2月	養父郡広域事務組合と応援協定を締結
8月	第11回全国消防救助技術大会に２年連続で出場
昭和58年 6月	兵庫県下消防職員意見発表会に出場し最優秀賞を獲得(4/22)、近畿地区代表として全国消防職員意見発表会に出場し入賞
8月	第12回全国消防救助技術大会に３年連続で出場。氷上郡広域行政事務組合と応援協定を締結
12月	宍粟広域消防事務組合と応援協定を締結
昭和59年 2月	北但広域消防事務組合と応援協定を締結
3月	西脇市多可郡消防事務組合と応援協定を締結
8月	救急車(２Ｂ型)を更新し出張所に配備(日本消防協会から寄贈)。福知山市と応援協定を締結。第13回全国消防救助技術大会に４年連続出場
昭和60年 1月	播但地区消防職員意見発表会で最優秀賞を獲得
昭和61年 6月	河川情報システムを運用開始
8月	第15回全国消防救助技術大会に２年ぶりに出場
昭和62年 8月	第16回全国消防救助技術大会に２年連続出場
9月	救急車(２Ｂ型)を更新し本署に配備(兵庫県共済農業共同組合連合会から寄贈)
昭和63年 2月	救助工作車(Ｉ型)を本署に配備
8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結
平成元年 2月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ｉ－Ａ型)を整備し、出張所に配備
9月	査察広報車を更新
10月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ｉ－Ｂ型)を更新し本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
平成 2年 3月	消防訓練塔(15m主訓練塔及び補助訓練塔)が完成
4月	緊急通報システム運用開始
8月	消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ｉ型)を更新し本署に配備
10月	第38回全国消防技術者会議で職員が研究発表
平成 3年 4月	救急救命士法成立

平成 3年 8月	救急車（２Ｂ型）を更新し出張所に配備（日本消防協会から寄贈）
9月	台風19号来襲、朝来郡内各地に被害
平成 4年 3月	兵庫県道路公社、姫路市、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定締結。兵庫県道路公社、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防無線設備及び通信施設に関する協定締結
9月	生野町オフトーク放送運用開始
平成 5年 4月	朝来郡コミュニティ消防センター竣工。兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
平成 6年 2月	消防緊急通信指令施設運用開始
4月	救急救命士養成所に職員１名を初めて派遣（神戸市 前期）
11月	高圧ガス等の移譲事務取扱開始
平成 7年 1月	兵庫県南部地震発生（1/17、M7.3）、神戸市灘消防署に応援隊派遣（延べ12日間、32名、11台）
3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備
4月	救急救命士による救急業務開始。同日、高規格救急自動車運用開始
平成 8年 3月	15mはしご付消防自動車を整備し本署に配備
6月	朝来郡広域消防事務組合を朝来郡広域行政事務組合に統合し、消防本部名を「あさご消防本部」に変更。消防本部発足20周年記念式典挙行
9月	朝来郡内の各町と朝来郡消防相互応援協定を締結
10月	兵庫県消防防災航空隊発足
平成 9年 1月	ロシア船籍「ナホトカ号」座礁に伴う流出油回収へ応援出動（～１/25）
3月	朝来郡自主防災推進協議会発足式を挙行
6月	山東町防災行政無線システム開局
	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得（４/15）。近畿地区代表として、京都市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
平成10年 4月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
平成11年 2月	兵庫県道路公社、氷上郡広域行政事務組合と遠阪トンネル有料道路における消防無線等に関する協定締結
8月	第28回全国消防救助技術大会に12年ぶりに出場
平成12年 5月	播但連絡道路開通
8月	第29回全国消防救助技術大会に２年連続で出場
平成13年 7月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
9月	救助工作車を更新し本署に配備（Ⅱ型に更新）
平成14年 3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員１名を隊員派遣
4月	和田山町及び朝来町のＣＡＴＶ開局
12月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型）を更新し、生野出張所に配備
平成15年 7月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を整備し本署に配備
	消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ｉ型)を更新し本署に配備
8月	第32回全国消防救助技術大会に３年ぶりに出場
平成16年 4月	兵庫県ドクターヘリ運用開始、兵庫県・神戸市消防防災ヘリコプター共同運航開始
7月	福井豪雨災害に緊急消防援助隊を派遣
8月	気管挿管認定救命士誕生。台風16号来襲、管内各地で被害発生
9月	消防本部庁舎耐震化工事完了
10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大（管内救助人員66名）
	兵庫県下広域応援出動要請により、豊岡市に救助隊を派遣。兵庫県下広域消防相互応援隊及び緊急消防援助隊の基地本部に指定され、県下応援隊（100隊）及び緊急消防援助隊（大阪府他計139隊）対応を北但広域消防本部に代わり但馬代表代行消防本部として行う
	高規格救急自動車を更新し、出張所に配備

平成17年 3月	朝来郡広域行政事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
4月	朝来市消防本部誕生、(朝来郡４町が合併し朝来市が誕生)
	尼崎市ＪＲ福知山線列車事故災害に兵庫県消防相互応援協定に基づき救急隊を派遣
11月	携帯電話からの119番通報を直接受信開始
平成18年 3月	薬剤投与認定救命士誕生
7月	北近畿豊岡自動車道(春日～和田山間)開通
8月	第35回全国消防救助技術大会に３年ぶりに出場
12月	第９回全国消防広報コンクールで広報紙の部で優秀賞受賞
平成19年 2月	高機能消防指令センター運用開始
6月	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(４/24)。近畿地区代表として、名古屋市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
8月	第36回全国消防救助技術大会に２年連続で出場
10月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
12月	第10回全国消防広報コンクールで広報紙の部で入賞
平成20年 8月	第37回全国消防救助技術大会に３年連続で出場
	自動体外式除細動器(ＡＥＤ)設置施設公表制度開始
平成21年10月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
12月	指揮支援車を本署に配備
平成22年 4月	ドクターヘリ運航開始
12月	ドクターカー運行開始
平成23年 3月	東北地方太平洋沖地震発生(3/11、M9.0)
3月～ 4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣(兵庫県隊、但馬ブロック隊として計16名派遣)
8月	消防広域化協議会発足式開催
平成24年 6月	消防救急デジタル無線基本設計・電波伝搬調査実施
8月	第41回全国消防救助技術大会に４年ぶりに出場
	養父市及び朝来市消防広域化調印式(８/22)
11月	指揮支援車を更新し出張所に配備
平成25年 3月	朝来市消防本部を閉庁

3　旧養父市消防本部の沿革

年　月	記　事
昭和53年 4月	養父郡広域事務組合養父郡消防本部(署)を設置(新規採用19名を含む24名で消防業務開始)
5月	査察広報車を配備
8月	救急車(２Ｂ型)２台を配備(八鹿病院及び日本船舶振興会から寄贈)
9月	消防ポンプ自動車(ＢＤ－Ⅰ型)及び司令車を配備
10月	初任科研修を修了した消防士18名を配置し、消防業務全般を開始
11月	化学消防自動車(Ⅱ型)を配備
12月	八鹿町高柳173番地に消防本部庁舎竣工に伴い移転。消防専用電話119番・農協有線電話0119番を消防本部に集中化。農協有線一斉緊急放送設備の運用開始。消防用無線電話開局
昭和54年 4月	消防吏員７名を採用
昭和54年 6月	救急車(２Ｂ型)を配備(日産自動車から寄贈)
9月	小型動力ポンプ付積載車を配備(日本船舶振興会から寄贈)
12月	大屋町樽見549番地に消防署大屋出張所庁舎竣工。消防吏員８名を配置、小型動力ポンプ付積載車及び救急車(２Ｂ型)、広報車(大屋ライオンズクラブから寄贈)を配備し消防業務開始

昭和55年 3月	八鹿町高柳313-10番地に消防訓練場及び訓練塔を竣工。気象観測装置一式設置
4月	消防吏員５名を採用（条例定数35名）
6月	養父町建屋婦人防火クラブ結成
昭和56年 5月	救助工作車（Ｉ型）を本署に配備
8月	消防本部書庫及び車庫増築
11月	関宮町立出合小学校少年消防クラブ結成
12月	養父郡幼少年婦人防火委員会設立
昭和57年 2月	朝来郡広域消防事務組合と応援協定締結
3月	養父町立養父小学校少年消防クラブ結成
4月	養父郡消防本部発足５周年記念式典挙行
6月	大屋町婦人防火クラブ結成
8月	消防訓練場に水防倉庫完成
昭和58年 7月	宍粟広域消防事務組合と応援協定締結
8月	美方郡広域消防事務組合と応援協定締結
9月	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を本署に配備（日本損害保険協会から寄贈）
昭和59年 2月	北但広域消防事務組合と応援協定締結
5月	査察広報車を更新し本署に配備
11月	防火広報車を更新し本署に配備（日本防火協会から寄贈）
昭和60年10月	救急車（２Ｂ型）を本署に配備（兵庫県農業共済連合会から寄贈）
昭和61年 1月	八鹿町立伊佐小学校少年消防クラブ結成
昭和62年 4月	公用車を本署に配備
昭和63年 2月	広域消防応援体制充実のため消防用無線全国波を増設
4月	消防訓練場に夜間照明設備完成。養父郡消防本部発足10周年記念式典挙行
8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結。本署に救急消毒室整備 林野火災特別地域指定に伴い林野火災用可搬式送水装置を配備
10月	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を更新し出張所に配備
11月	司令車を更新し本署に配備
平成元年 8月	出張所に救急消毒室を整備
10月	救急車（２Ｂ型）を出張所に配備（日本消防協会から寄贈）
平成 3年 2月	救助工作車（Ｉ型）を更新し本署に配備
10月	緊急通報システム運用開始
平成 4年 1月	査察広報車を更新し本署に配備
11月	救急車（２Ｂ型）を本署に配備（日本消防協会から寄贈）
12月	化学消防車（Ⅱ型）を更新し本署に配備
平成 5年 4月	兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
10月	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を本署に配備（日本損害保険協会から寄贈）
11月	救急車（２Ｂ型）を本署に配備（養父郡農業協同組合から寄贈）
平成 6年 7月	査察広報車を更新し出張所に配備
11月	防火広報車更新
平成 7年 1月	兵庫県南部地震発生、神戸市灘消防署に応援隊派遣（1/17、延べ11日間、33名、11台）
10月	救命士養成所に職員１名を初めて派遣（財団九州研修所　後期）
平成 8年 9月	兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステム導入
平成 9年 3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備（日本自動車工業会から寄贈）
7月	公用車を更新し本署に配備
平成10年 6月	養父郡消防本部発足20周年記念式典挙行、シンボルマーク及びマスコットキャラクター制定
12月	冬山捜索装備品整備

平成11年 6月	高規格救急自動車（４ＷＤ）を整備し出張所に配備
平成12年12月	緊急通報システムセンター装置更新
平成13年12月	緊急テロ対策関係資器材整備
平成14年10月	司令車を更新し出張所に配備
平成15年 3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員１名を隊員派遣
6月	災害対応特殊高規格救急自動車（４ＷＤ）を本署に配備
8月	第32回全国消防救助技術大会に初出場
12月	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新し出張所に配備
平成16年 3月	養父郡広域事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
4月	養父市消防本部誕生（養父郡４町が合併し養父市が誕生）
8月	第33回全国消防救助技術大会に２年連続で出場
10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大、県下広域応援出動要請により豊岡市に救助隊を派遣
平成17年 4月	播但地区代表として兵庫県消防職員意見発表会に出場
8月	第34回全国消防救助技術大会に３年連続で出場
9月	救命ボート、水難救助器材、自家用発電機整備
11月	携帯電話からの119番通報を直接受信開始
平成19年 1月	救助工作車（Ⅱ型）を更新し本署に配備
8月	第36回全国消防救助技術大会に２年ぶりに出場
12月	八鹿ライオンズクラブから自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を寄贈され署所に配備
平成20年 3月	査察広報車を更新し本署に配備（ＪＡたじま・ＪＡ共済連兵庫から寄贈）
7月	八鹿ヘリポート少量危険物貯蔵施設整備
平成21年 2月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
9月	防火広報車を更新し本署に配備
11月	携帯・ＩＰ電話位置情報システム運用開始
平成22年 3月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
4月	ドクターヘリ運航開始
12月	ドクターカー運行開始、化学消防ポンプ自動車を更新し本署に配備
平成23年 3月	東北地方太平洋沖地震発生（M9.0）
3月～4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣（兵庫県隊、但馬ブロック隊として計14名派遣）
8月	養父市及び朝来市消防広域化協議会発足式開催
9月	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新し本署に配備
10月	ドクターカー・ドクターヘリとの併用運行開始
12月	鳥取県東部広域行政管理組合と応援協定を締結
平成24年 8月	養父市及び朝来市消防広域化調印式（８/22）
平成25年 3月	養父市消防本部を閉庁

平成28年度中の主要行事

月　日	内　容
4月 1日	南但消防本部辞令交付式（職員採用者５名）
	消防救急デジタル無線運用開始
	山火事防止月間（～４/30）
4月 3日	養父市消防大会（於：八鹿文化会館）、朝来市消防大会（於：和田山ジュピターホール）
4月 5日	南但危険物安全協会理事会（於：南但消防本部）
4月16日	熊本地震、緊急消防援助隊派遣（～４/22　救急隊、後方支援隊　延べ　12名を派遣）
4月17日	養父市消防団新入団員訓練（於：養父消防署）
4月24日	消防ふれあい祭り（於：イオン和田山店）
4月26日	交通安全教育・人事評価制度説明会（４/26　於：朝来消防署、４/27　於：養父消防署）
5月 6日	救助隊特別訓練（～７/23）
5月 8日	朝来市消防団ポンプ操法指導会（於：南但消防本部）
5月15日	全但消防協議会総会（於：ビバホール）
5月16日	養父市幼少年婦人防火委員会総会（於：養父消防署）
5月17日	朝来市自主防災推進協議会役員会（於：南但消防本部）
5月19日	南但危険物安全協会総会（於：和田山ジュピターホール）
5月23日	第１回消防関係機関連絡会（於：南但消防本部）
5月24日	水防連絡会議（於：養父土木事務所）
5月26日	甲種防火管理者講習会（５/26, 27　於：南但消防本部）
5月30日	養父市トライやるウィーク（～６/３）
	水防連絡会議（於：姫路土木事務所）
6月 4日	養父市婦人防火クラブ総会（於：養父公民館）
6月 5日	危険物安全週間（～６/11）
6月 6日	朝来市トライやるウィーク（～６/10）
6月 8日	但馬県民局合同防災パトロール（畑, 久田和）
6月15日	急流救助訓練（於：八鹿町小田井堰）
6月16日	水難救助訓練（６/16, 17　於：山東町金浦調整池）
6月19日	朝来市消防団ポンプ操法大会（於：朝来市羽渕　国道312号チェーン脱着場）
	養父市水防工法訓練（於：養父地域局前大屋川河川敷）
6月23日	朝来市自主防災推進協議会総会（於：和田山ジュピターホール）
	但馬県民局合同防災パトロール（越田, 桑市, 佐嚢）
7月23日	第45回消防救助技術近畿地区指導会（於：大阪市消防局高度専門教育訓練センター）
7月26日	ブリーチング（コンクリート壁を破壊し開口部を造る）訓練（７/26, 27　於：朝来市役所）
8月 7日	兵庫県消防操法大会（於：兵庫県消防学校）
8月18日	養父中学校新任教員研修（８/18, 19　於：南但消防本部）
8月24日	第45回全国消防救助技術大会（ロープブリッジ渡過出場　於：愛媛県松山市）
8月28日	豊岡市防災訓練（於：竹野町）
8月30日	防災週間（～９/５）
9月 4日	養父市・朝来市一斉避難訓練
	救急医療週間（～９/10）

月　日	内　容
9月 9日	但馬ＭＣ協議会合同救急訓練（於：豊岡市消防本部）
9月23日	防火ポスター審査会（於：南但消防本部）
10月 1日	救助訓練強化月間（～10/31）
10月14日	危険物施設防火研修会（於：南但消防本部）
10月17日	養父消防署山岳救助訓練（10/17,18　於：養父市立全天候運動場付近山中）
10月18日	和田山高校職業体験（～10/20）
10月21日	第２回消防関係機関連絡会議（於：南但消防本部）
10月22日	緊急消防援助隊近畿ブロック訓練（10/22, 23　於：奈良県五條市）
10月23日	イオン消防広場（於：イオン和田山店）
10月30日	ひょうご消防のつどい（於：姫路市）
11月 1日	救急強化月間（～11/30）
11月 6日	朝来市消防団山東支団合同訓練（於：よふど温泉）
11月 8日	一日消防官（於：朝来消防署、養父消防署）
11月 9日	秋季全国火災予防運動（～11/15）
	朝来市消防団和田山支団夜間消防合同訓練（於：市御堂）
11月10日	旅館・ホテル防火研修会（於：南但消防本部）
11月13日	南海トラフ地震住民一斉避難訓練・合同防災訓練（於：南あわじ市）
	養父市消防団大屋方面隊合同訓練（於：障害者支援施設「琴弾の丘」）
11月14日	養父市独り暮らし・老人世帯防火訪問（於：大屋方面）
11月15日	朝来消防署山岳救助訓練（～11/17　於：立雲峡）
11月16日	15mはしご付消防自動車運用開始
	養父市独り暮らし・老人世帯防火訪問（11/16　於：関宮方面、11/17　於：八鹿方面）
11月17日	兵庫県消防防災航空隊合同訓練（於：立雲峡）
11月18日	福祉村合同訓練（於：高齢者グループホーム「わらしべ」）
11月20日	消防ふれあい祭り（於：養父市Ｙタウン）
11月21日	朝来市消防団生野支団独り暮らし高齢者防火訪問（生野町）
11月22日	養父市独り暮らし・老人世帯防火訪問（於：養父方面）
11月26日	乳児の心肺蘇生法講習会（於：養父消防署）
11月28日	鉄道事故対応合同訓練（於：ＪＲ和田山駅構内）
12月 1日	消防訓練強化月間（～12/15）
12月 4日	朝来市消防団研修（幹部研修　於：さんとう緑風ホール、新入団員・女性消防団員　於：南但消防本部）
	朝来市消防団和田山支団独り暮らし高齢者防火訪問（和田山町）
12月15日	年末年始特別警戒（前期12/15～12/24、後期12/25～１/３）
1月12日	平成29年消防出初式（於：南但消防本部）
1月22日	朝来市文化財消防訓練（於：赤淵神社）
1月31日	第17回播但地区消防職員意見発表会（於：姫路市）
3月 1日	春季全国火災予防運動（～３/７）
3月 4日	乳児の心肺蘇生法講習会（於：養父消防署）
3月 5日	朝来市消防団「林野火災対応合同訓練」（於：生野工業団地付近）
3月 9日	病院・社会福祉施設防火研修会（於：南但消防本部）
3月10日	北近畿豊岡自動車道合同訓練（於：豊岡市）
3月13日	但馬地区消防本部救助技術研究会（於：南但消防本部）
3月17日	兵庫県消防防災ヘリ合同訓練（於：生野町栃原）

～おもな出来事～



南但消防本部辞令交付式　（４月１日　消防本部）
　４月から新しく５名の職員を採用し、消防長から辞令交付が行われました。１日でも早く市民から信頼される消防士になることを誓いました。



熊本県で大地震、緊急消防援助隊派遣(4/16～4/22)
　救急隊と後方支援隊（延べ12人）を熊本県に派遣しました。被災地では余震も続発しており、大変な状況が続いています。一刻も早く余震が治まり、復興が進むことを願っています。



消防ふれあい祭り
　（４月24日　イオン和田山ショッピングセンター）
　（11月20日　養父市Yタウン）
　昨年に引き続き養父市、朝来市内で消防ふれあい祭りを開催しました。多くのご来場ありがとうございました。



トライやるウィーク（5月30日～6月3日　養父消防署）
（6月6日～6月10日　朝来消防署）
　和田山、生野、関宮、大屋中学の２年生８名が参加し、敬礼などの基本訓練から救助、放水訓練、普通救命講習などの訓練にトライしました。



ブリーチング訓練　　（７月26、27日）
　朝来市役所旧農業研修センターにてブリーチング訓練（コンクリート壁を破壊し開口部を造る）を実施しました。実際の建物を使用し、各隊員のスキルの向上に努めました。



養父中学校新任教員研修(8月18、19日　消防本部)
　養父中学校新任女性教諭が教員養成を目的として、２日間養父消防署・朝来消防署に職場体験に来られ、放水訓練・救助訓練・救急訓練等を行いました。

～おもな出来事～



第45回消防救助技術近畿地区指導会(7月23日大阪市)
第45回全国消防救助技術大会(８月24日松山市)
　南但消防本部の代表として選考された救助隊員が出場。神宮司士長が近畿地区で優勝し、全国大会でも１位の成績を収めました。



養父市・朝来市一斉避難訓練　　（９月４日）
　養父市、朝来市の各町で一斉避難訓練が行われました。市民の防災意識の向上、また、消防本部、警察、自衛隊、八鹿病院（ＤＭＡＴ）との連携を一層強化しました。



15mはしご付消防自動車の更新（11月　消防本部）
　15mはしご付消防自動車を更新しました。放水性能と安全性が向上し、これまでより狭い場所でも梯子を伸ばして活動することが可能となりました。



山岳救助訓練　　（11月15、16、17日　立雲峡）
　立雲峡第二展望台付近で登山者が滑落し負傷したとの想定で、消防防災ヘリと合同訓練を実施しました。



乳幼児の心肺蘇生法講習会
（11月26日　養父消防署）
　乳幼児に対する心肺蘇生法や、ＡＥＤの取り扱い方法を学ぶ講習会を実施しました。一般公募で集まった方々が、熱心に取り組まれていました。



ＪＲ列車事故対応合同訓練
（11月28日　ＪＲ和田山駅）
　消防本部、ＪＲ西日本、朝来警察、八鹿病院（ＤＭＡＴ）、朝来医療センターの連携強化のため、列車事故を想定した合同訓練を実施しました。

一目統計

構成市町	面　積	人　口	世帯数
2市 養父市 朝来市	825.97㎢ 養父市　422.91㎢ 朝来市　403.06㎢	55,823人 養父市　24,552人 朝来市　31,271人	21,921世帯 養父市　9,584世帯 朝来市　12,337世帯

予　算	組　織	職員数	消防団員数
967,975千円	消防本部　1 消防署　2 出張所　2	96名	2,305名 養父市　1,299名 朝来市　1,006名

防火対象物	危険物施設	防火団体	
3,214棟 養父市　1,506棟 朝来市　1,708棟	330施設 養父市　168施設 朝来市　162施設	朝来市自主防災 推進協議会 421会員 地域会員 159会員 事業所会員 256会員 賛助会員　6会員	養父市幼少年婦人 防火委員会 555名 少年消防クラブ　59名 幼年消防クラブ 396名 婦人防火クラブ 100名

火　災	救　急	救　助	その他
29件 【出火原因】 ①焼却火 ②不明 ③コンロ 列車ブレーキの火花	出動件数　3,123件 搬送人員　2,888名 【事故種別】 ①急　病 ②一般負傷 ③転院搬送	出動件数　59件 救助人員　43名 【事故種別】 ①交通事故 ②機械による事故 ③建物等による事故	出動件数　915件 【種別】 ①ヘリ支援　735件 ②救急支援　131件 ③その他　49件

通　信	タンク・ポンプ車	特殊車両	救急車
119番総受信回数 3,638回 緊急通報受信回数 2,842回	タンク車　2台 ポンプ車　3台	はしご車　1台 救助工作車　2台 化学車　1台	高規格救急車　6台

概　要　編

凡例
統計中の符号等の用法は、次のとおりです。
「０」……該当数字を四捨五入した結果、０となったもの
「△」……負数
「(空白)」…該当なし

管　理

1　平成28年度消防行政の推進

平成28年４月16日、熊本地方を襲った熊本地震では観測史上初めて震度７が連続して観測され、熊本県を中心とした広い範囲で甚大な被害が発生しました。当本部も緊急消防援助隊として救急隊と後方支援隊、延べ４隊12名を派遣し現地での災害活動にあたりました。



このように大規模・複雑多様化する自然災害等に対応するため、当本部でも署内での訓練はもとより関係機関との連携訓練を重ねるなど大規模災害への対応体制の強化に努めました。

また、救急救命士や救急隊員の指導、教育にあたる指導救命士を養成するため救急救命九州研修所へ１名を派遣したほか、兵庫県消防学校を始めとした各研修機関へ27名の職員を派遣し職員の能力開発に努めました。

なお、「地域の安全・安心を守る」という基本理念の基に定めた当該年度の重点推進事項は、次のとおりです。

（１）自主防災と防火管理体制の強化
（２）住宅防火対策及び災害弱者対策の推進
（３）消防活動の高度化
（４）活力ある職場づくり

2　平成28年度当初予算

平成28年度当初予算の総額は967,975千円で前年と比較すると296,171千円の減となっています。このうち人件費は763,572千円で歳出予算総額の78.9％を占めています。



また、消防施設や資機材などを整備する消防施設整備事業費は117,514千円で12.1％を占め、前年と比較すると266,794千円の減となっています。

主な事業として、朝来消防署はしご車の更新を行ったほか、消防本部駐車場の舗装修繕工事などを行いました。

予　防

1　防火対象物の状況

平成28年度末の防火対象物は総数3,214棟で、市別では養父市1,506棟、朝来市1,708棟となっています。用途別では「その他の事業所」が707棟と最も多く約22％を占めており、続いて「工場等」（519棟）、「共同住宅等」（338棟）となっています。

また、これら多くの人が利用する様々な防火対象物に立ち入り、防火管理や消防用設備等の維持管理を検査する予防査察件数は700件（棟数）で、防火安全上の不備欠陥事項がある対象物の関係者に対し改修等を指導しています。

2　危険物施設の状況

平成28年度末の危険物施設数は総数330施設で、市別では養父市168施設、朝来市162施設となっています。施設区分別では「地下タンク貯蔵所」が102施設と最も多く約30％を占めており、続いて「一般取扱所」（63施設）、「給油取扱所」（49施設）となっています。

また、危険物施設の保安状況を検査する立入検査回数は230回で、全施設の約69％に実施し、危険物施設が技術上の基準に適合し、適切に維持管理されるよう指導しています。

3　自主防災組織の育成

管内それぞれの地域の自主防災体制を強化するため、両市内で地域に根ざした自主防災組織の育成に協力しています。



養父市内には保育園児と小学生及び地域の女性からなる「養父市幼少年婦人防火委員会」が設立されており、防火研修や救急講習会など多彩な行事を通じて防災思想の普及啓蒙を重点に活動しています。

（左）養父小学校少年消防クラブ員救急教室の様子（養父市）
（下）朝来市自主防災推進協議会での防災講演会の様子（朝来市）

また、朝来市内には事業所等と市内全地区を会員とした「朝来市自主防災推進協議会」が設立されており、防災講演会や春・秋の火災予防運動への活動助成を通じて地域ぐるみで自主防災に取り組んでいます。



火　災



平成28年中の出火件数は29件で、前年（31件）と比較すると２件の減少となっています。

火災種別でみると、建物火災が９件、車両火災が３件、林野火災が２件、その他の火災が15件となっています。

地域別の発生状況をみると、朝来市内の出火件数は19件で、その内訳は、建物火災が６件、車両火災が２件、林野火災が１件、その他の火災が10件となっています。

養父市内の出火件数は10件で、その内訳は、建物火災が３件、車両火災が１件、林野火災が１件、その他の火災が５件となっています。

火災の損害は27,789千円で、前年と比較すると412,977千円減額しています。

死傷者をみると、建物火災で死者が１名、負傷者が２名、その他火災で負傷者が１名発生しています。

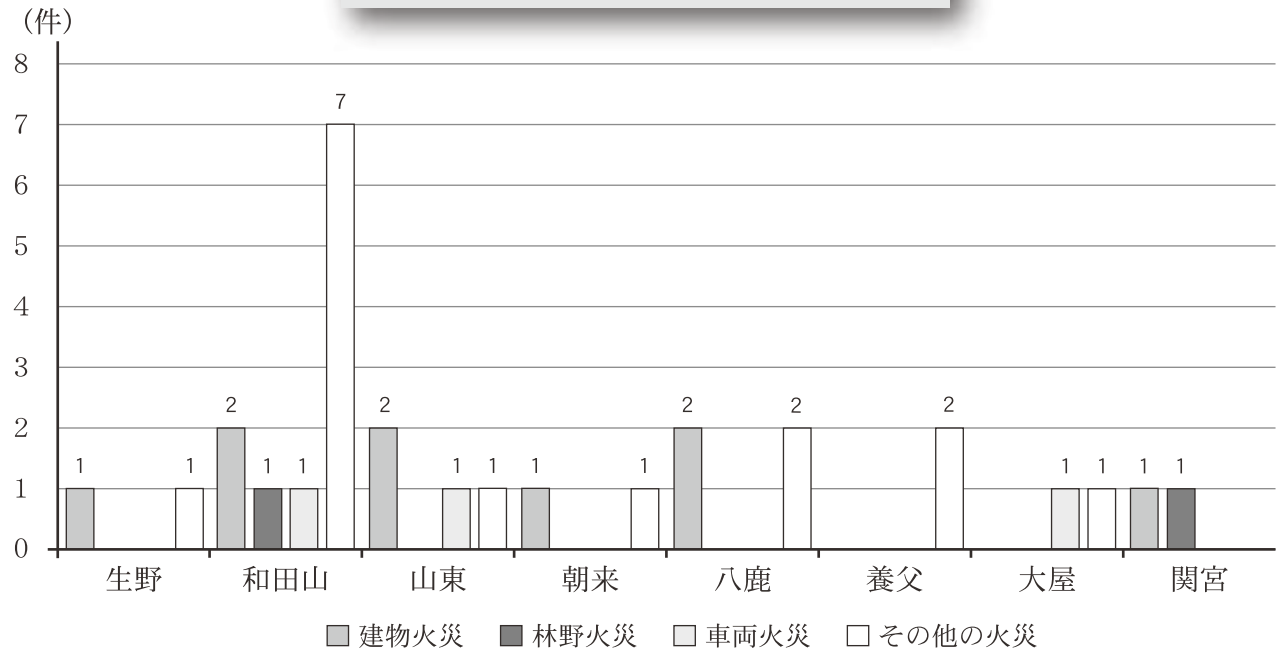
火災の状況

区分		平成２８年	平成２７年	比較増減
出火件数	総数	29	31	△2
	建物火災	9	17	△8
	林野火災	2	1	1
	車両火災	3	2	1
	その他の火災	15	11	4
焼損棟数	総数	9	26	△17
	全焼	3	11	△8
	半焼		1	△1
	部分焼	2	9	△7
	ぼや	4	5	△1
焼損面積	建物（㎡）	685	5,824	△5,139
	林野（ａ）	34	3	31
損害額（千円）	総数	27,789	440,766	△412,977
	建物	26,197	438,129	△411,932
	林野	440		440
	車両	1,108	2,634	△1,526
	その他	44	3	41
り災世帯数		7	12	△5
り災人員		10	32	△22
死者		1	4	△3
負傷者		3	7	△4

地域別の状況

区分		総数	朝来市					養父市				
			小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮
出火件数	総数	29	19	2	11	4	2	10	4	2	2	2
	建物火災	9	6	1	2	2	1	3	2			1
	林野火災	2	1		1			1				1
	車両火災	3	2		1	1		1			1	
	その他の火災	15	10	1	7	1	1	5	2	2	1	
焼損棟数	総数	9	6	1	2	2	1	3	2			1
	全焼	3	3	1		1	1					
	半焼											
	部分焼	2	2		2							
	ぼや	4	1			1		3	2			1
焼損面積	建物(㎡)	685	685	352	10	296	27					
	林野(a)	34	10		10			24				24
損害額(千円)		27,789	26,408	12,373	699	12,834	502	1,381	25	30	870	456
り災世帯数		7	4	1	1	2		3	2			1
り災人員		10	6	2	1	3		4	3			1
死者		1	1			1						
負傷者		3	2		1	1		1	1			

地域別・火災種別出火件数



救　急

平成28年中の救急件数は3,123件、搬送人員は2,888人で、前年(3,046件、2,759人)と比較すると件数で77件の増加、人員で129人の増加となっています。

事故種別でみると、急病が1,866件で最も多く、次いで一般負傷491件、転院搬送305件、交通事故265件と続いています。

朝来市内の救急件数は1,590件、養父市内の救急件数は1,530件、管外が３件となっています。

地域別の救急件数は、朝来市内は、生野208件、和田山803件、山東254件、朝来325件となっており、養父市内は、八鹿587件、養父387件、大屋269件、関宮287件となっています。



救急の状況

区　分	平成28年		平成27年		比較増減
	件　数	比率(%)	件　数	比率(%)	
総　数	3,123	100	3,046	100	77
火　災	2	0.1	6	0.2	△ 4
自然災害					
水難事故	1	0.1	4	0.1	△ 3
交通事故	265	8.5	268	8.8	△ 3
労働災害	28	0.9	29	0.9	△ 1
運動競技	33	1.0	14	0.5	19
一般負傷	491	15.7	502	16.5	△ 11
加　害	10	0.3	6	0.2	4
自損行為	22	0.7	13	0.4	9
急　病	1,866	59.7	1,743	57.2	123
転院搬送	305	9.8	340	11.2	△ 35
そ　の　他	100	3.2	121	4.0	△ 21

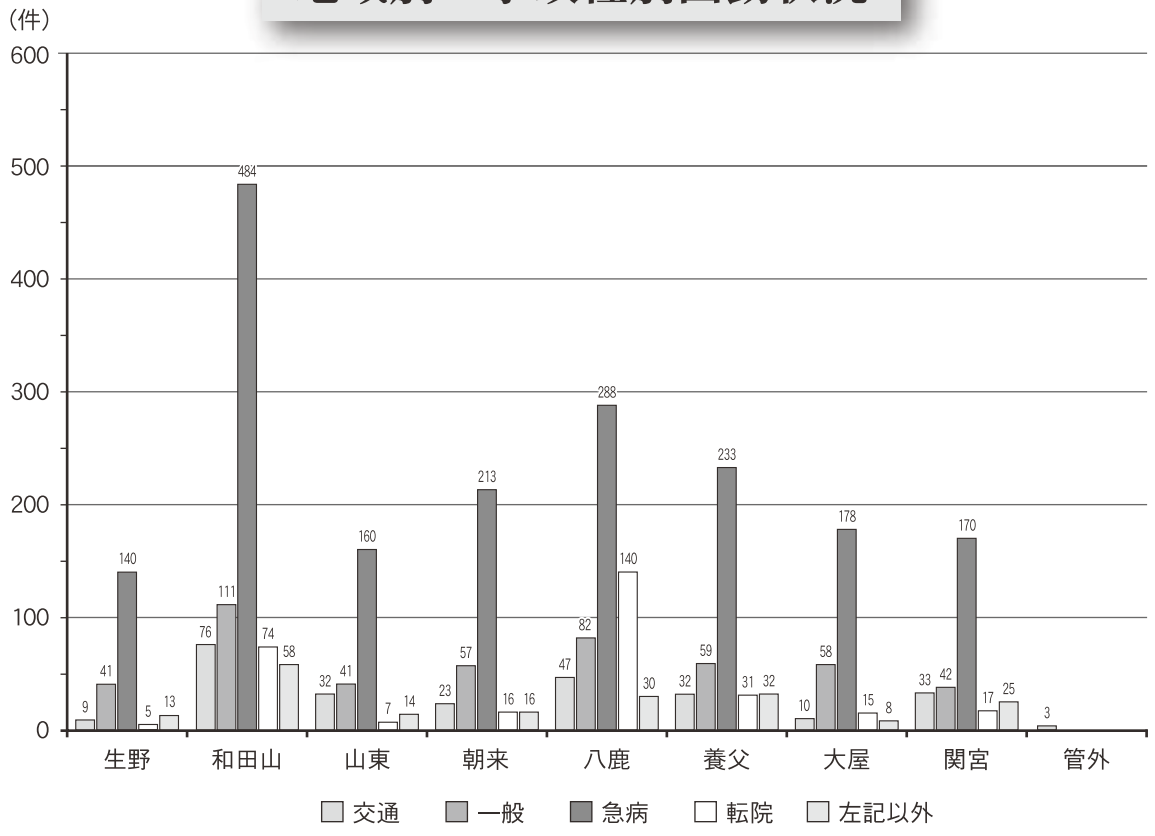
※その他とは、上記以外のもの(例)医師搬送など。

地域別の状況

（単位：件）

区　分	総数	朝来市					養父市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総　数	3,123	1,590	208	803	254	325	1,530	587	387	269	287	3
火　災	2	2	1		1							
自然災害												
水難事故	1						1		1			
交通事故	265	140	9	76	32	23	122	47	32	10	33	3
労働災害	28	17		12	1	4	11	4	4	2	1	
運動競技	33	16	4	7	3	2	17	7	2	1	7	
一般負傷	491	250	41	111	41	57	241	82	59	58	42	
加　害	10	8	1	5	1	1	2	1	1			
自損行為	22	16	1	12	1	2	6	4	2			
急　病	1,866	997	140	484	160	213	869	288	233	178	170	
転院搬送	305	102	5	74	7	16	203	140	31	15	17	
そ　の　他	100	42	6	22	7	7	58	14	22	5	17	

地域別・事故種別出動状況



救　助

平成28年中の救助件数は59件で、前年(74件)と比較すると15件の減少となっています。

事故種別でみると、交通事故が29件、水難事故が１件、機械による事故が３件、建物等による事故が２件、その他の事故が24件となっています。

地域別の出動状況をみると、朝来市内は生野４件、和田山17件、山東３件、朝来６件、養父市内は八鹿７件、養父10件、大屋５件、関宮７件となっています。

救助隊が救助活動を行った件数は35件で、43人を救助しました。



救助の状況

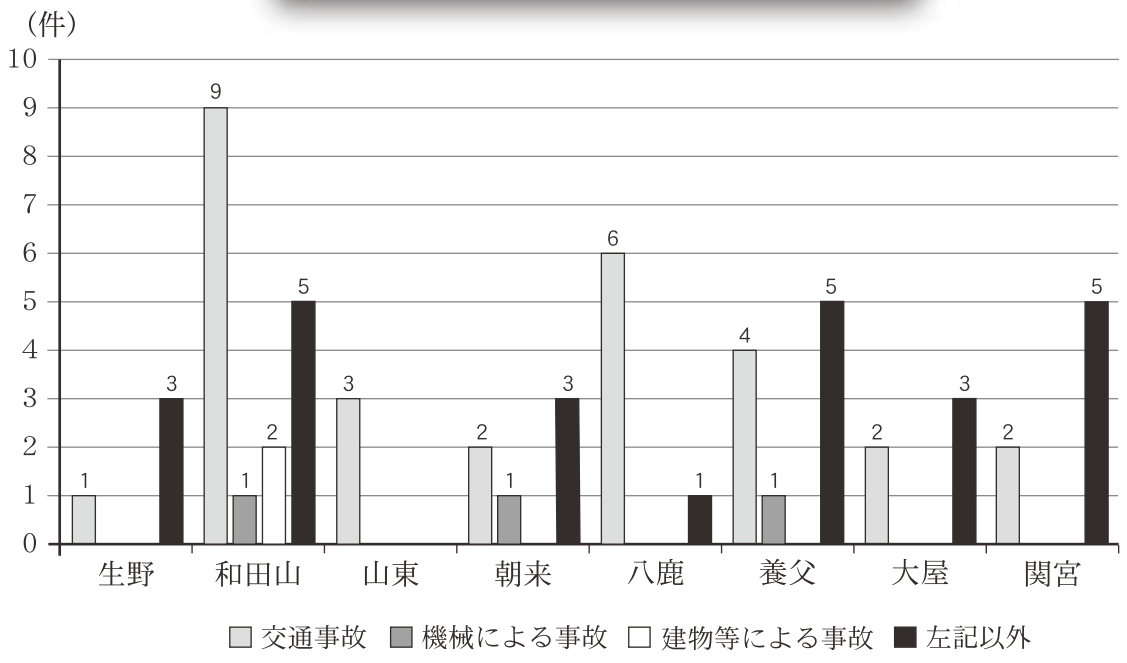
区　　分	平成28年	平成27年	比　較　増　減
	件　　数	件　　数	
総　　数	59	74	△15
火　　災		3	△3
交　通　事　故	29	42	△13
水　難　事　故	1	3	△2
自　然　災　害			
機械による事故	3	2	1
建物等による事故	2	1	1
ガス及び酸欠事故			
破　裂　事　故			
その他の事故	24	23	1

地域別の状況

（単位：件）

区　　分	総数	朝　来　市					養　父　市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総　　数	59	30	4	17	3	6	29	7	10	5	7	
火　　災												
交　通　事　故	29	15	1	9	3	2	14	6	4	2	2	
水　難　事　故	1						1		1			
自　然　災　害												
機械による事故	3	2		1		1	1		1			
建物等による事故	2	2		2								
ガス及び酸欠事故												
破　裂　事　故												
その他の事故	24	11	3	5		3	13	1	4	3	5	
救助活動件数	35	20	2	12	2	4	15	3	5	4	3	
救　助　人　員	43	25	2	14	5	4	18	3	5	5	5	

地域別・事故種別出動状況



通　信

平成28年中の119番受信件数は3,638件で、その内訳は緊急通報が2,842件、緊急外通報が796件となっています。

前年と比較すると、緊急通報が140件増加し、緊急外通報が216件減少しています。

また、携帯電話からの119番通報は1,189件で、前年と比較すると153件の増加となっています。



通信の状況

（単位：件）

区分		平成27年	うち、携帯電話	平成28年	うち、携帯電話	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		3,714	1,036	3,638	1,189	248	250	310	270	305	263	349	348	318	328	346	303
緊急通報	火災通報	22	8	21	13	3		6	3	3	1		1	1		1	2
	救急通報	2,412	632	2,576	821	188	196	220	201	219	180	243	267	215	225	201	221
	病院紹介	103	56	59	40	5	5	3	7	6	6	7	4	6	5	2	3
	台風関連第２報等	131	62	146	89	6	7	12	9	10	13	11	19	22	15	13	9
	ガス漏検索誤報等	34	16	40	8	2	1	4	1		1	8	6	5	2	9	1
	計	2,702	774	2,842	971	204	209	245	221	238	201	269	297	249	247	226	236
緊急外通報	通報訓練	324	7	327	18	8	18	26	10	32	37	30	12	15	41	55	43
	間違い	115	50	90	47	7	4	5	5	6	6	11	5	8	10	15	8
	いたずら	1		3	2	1				1		1					
	問合せ	43	13	74	38	3	4	4	4	6	4	10	10	3	8	12	6
	その他	529	192	302	113	25	15	30	30	22	15	28	24	43	22	38	10
	計	1,012	262	796	218	44	41	65	49	67	62	80	51	69	81	120	67

統計資料編

管　理　編

平成 28 年度予算状況

（単位：千円）

性質別等		当初予算額	補正予算額	現計予算額	比　率　（%）
歳入	総　　計	967,975	△23,084	944,891	100.0
	分　担　金	856,682	△20,084	836,598	88.5
	使用料・手数料	801	0	801	0.1
	国県支出金	0	0	0	0.0
	繰　入　金	0	0	0	0.0
	繰　越　金	0	0	0	0.0
	地　方　債	99,500	△3,600	95,900	10.1
	諸収入他	10,992	600	11,592	1.3
歳出	総　　計	967,975	△23,084	944,891	100.0
	人　件　費	763,572	△13,598	749,974	79.4
	物　件　費	74,233	△5,045	69,188	7.3
	建設事業費	117,514	△3,974	113,540	12.0
	維持補修費	4,822	△111	4,711	0.5
	補助費等	7,834	△356	7,478	0.8
	公　債　費	0	0	0	0.0

平成 28 年度職員給与費の実態

職員給与

（単位：千円）

職員数（A）	平成28年度給与費				一人当たりの給与費（B）/（A）
	給　料	職員手当	期末・勤勉手当	計（B）	
96	336,083	108,228	129,147	573,458	5,974

初任給の状況（高校卒）

	消防職	一般行政職	国
初任給	1級8号給	1級5号給	1級5号俸
金　額	149,400円	146,100円	146,100円

階級別勤続年数

（H29.3.31現在）

階級 / 勤続年数	総数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
総数	96	1	24	35	11	6	19
1年未満	5						5
1年～5年	22				3	5	14
6年～10年	11			4	6	1	
11年～15年	7			6	1		
16年～20年	10			10			
21年～25年	13			13			
26年～30年	7		6	1			
31年～35年	3		2	1			
36年以上	18	1	16		1		

年齢別職員構成

（H29.3.31現在）

階級 / 年齢区分	総数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
総数	96	1	24	35	11	6	19
20歳以下	1						1
21歳～25歳	19					1	18
26歳～30歳	13				8	5	
31歳～35歳	10			8	2		
36歳～40歳	10			10			
41歳～45歳	13			13			
46歳～50歳	6		3	3			
51歳～55歳	8		7	1			
56歳以上	16	1	14		1		

研修派遣状況

（単位：人）

研修科目＼階級	総数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
総数	27		4	8	3	2	10
《兵庫県消防学校》	24		3	6	3	2	10
初任教育	4						4
警防科	1			1			
特殊災害科	1			1			
危険物科	1				1		
火災調査科	1			1			
救急科	4						4
救助科	1					1	
中級幹部科	1		1				
救急救命士養成課程	1			1			
救急救命士追加講習（ビデオ喉頭鏡追加講習）	1					1	
救急救命士追加講習（拡大二行為追加講習）	1						1
惨事ストレス研修	1		1				
潜水科	2				2		
通信担当者研修	3		1	2			
山岳用救助器具取扱技術研修	1						1
《救急救命九州研修所》	1			1			
指導救命士養成研修	1			1			
《兵庫県自治研修所》	2		1	1			
管理職研修	1		1				
監督職研修	1			1			

階級別資格取得状況

（H29.3.31現在）

資格＼階級		総数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
運転免許	大型	71	1	18	31	9	6	6
	普通	96	1	24	35	11	6	19
危険物取扱者（甲種）		4	1	2	1			
危険物取扱者（乙種）		75	1	23	30	8	6	7
危険物取扱者（丙種）		16		9	7			
消防設備士（乙種）		15	1	9	4	1		
特殊無線乙		96	1	24	35	11	6	19
救急救命士資格		37		12	21	1	2	1
気管挿管認定		29		8	19	1	1	
薬剤投与認定		32		8	21	1	1	1
救急隊員資格（Ⅱ課程）		44	1	24	18	1		
救急隊員資格（標準課程）		52			17	10	6	19
応急手当指導員		96	1	24	35	11	6	19
救助隊員資格（1号）		37		7	26	3	1	
小型船舶操縦士		13		2	9	1	1	
玉掛技能者		29		4	15	6	1	3
移動式クレーン		28		4	15	5	1	3
安全衛生推進者		3		3				
予防技術資格者		10	1	4	5			

平成 27 年度一般会計決算の概要

（歳入）

（単位：千円）

科　　目	予算現額（A）	収入済額（B）	比較（B－A）
歳　入　合　計	1,278,249	1,272,278	△5,971
分担金及び負担金	870,576	863,686	△6,890
使用料・手数料	801	1,779	978
地　方　債	365,900	365,900	0
繰越費及び繰越事業費繰越額	30,006	30,006	0
諸　収　入	10,966	10,907	△59

（歳出）

科　　目	予算現額（A）	支出済額（B）	比較（A－B）
歳　出　合　計	1,278,249	1,265,273	12,976
常　備　消　防　費	865,535	853,830	11,705
消　防　施　設　費	412,714	411,443	1,271

歳　入　総　額　　1,272,278千円
歳　出　総　額　　1,265,273千円
歳入歳出差引残額　　7,005千円

消防相互応援協定等の締結状況

（平成29年３月31日現在）

締結年月日	内　　容
平成２５年４月１日	豊岡市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成２５年４月１日	美方郡広域事務組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成２５年４月１日	姫路市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成２５年４月１日	丹波市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成２５年４月１日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成２５年４月１日	西はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成２５年４月１日	鳥取県東部広域行政管理組合消防局と消防相互応援に関する協定(新規)
平成２５年４月１日	福知山市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成２５年４月１日	兵庫県道路公社、姫路市と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成２５年４月１日	国土交通省豊岡河川国道事務所、兵庫県道路公社、丹波市と北近畿豊岡自動車道春日ジャンクション・インターチェンジから八鹿氷ノ山インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成２７年２月15日	朝来市消防団との消防活動に関する覚書(改定)
平成２７年２月15日	養父市及び養父市消防団との現場活動等に関する覚書(新規)
平成２９年１月13日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)
平成２９年３月25日	国土交通省豊岡河川国道事務所、豊岡市と北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山インターチェンジから日高神鍋高原インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(新規)

予　防　編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）

（H29.3.31現在）

用途別		防火対象物									3階以上対象物								
		総数	朝来市				養父市				総数	朝来市				養父市			
			生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮
総数		3,214	240	954	282	232	636	341	243	286	412	31	125	27	13	111	26	9	70
1	イ 映画館等	2	1	1							2	1	1						
	ロ 集会場等	189	10	37	22	20	31	20	21	28	7		4		1	1	1		
2	イ キャバレー等	1		1															
	ロ 遊技場等	4		3			1												
	ニ カラオケボックス等	1		1															
3	イ 料理店等																		
	ロ 飲食店等	78	2	28	7	2	13	16	4	6	5		1	1		3			
4	店舗等	161	9	79	13	14	19	18	1	8	6		4			2			
5	イ 旅館・ホテル等	156	8	11	13	9	10	5	10	90	61		8	2		1	2	2	46
	ロ 共同住宅等	338	31	149	32	19	55	36	6	10	87	9	27	10	1	27	8		5
6	イ 病院等	48	3	19	3	5	12	5		1	9		3		4	2			
	ロ グループホーム等	42	3	6	6	10	4	3	8	2	4		1		1	1			1
	ハ デイサービス・保育所	92	8	24	9	7	19	12	9	4	2				1		1		
	ニ 幼稚園等	13		10	1	1	1				2		2						
7	学校等	112	23	18	7	6	43	7	4	4	39	7	11	2	1	11	2	2	3
8	図書館等	17	6	3	1	2		1	4		1		1						
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公衆浴場等	5		1	1		1		1	1									
10	車両の停車場	4	1	1			1	1			1		1						
11	神社・寺院等	93	11	9	3	1	20	24	11	14	1	1							
12	イ 工場等	519	43	168	52	45	101	56	30	24	23	7	3	1	1	5	3		3
	ロ 映画スタジオ等	3				1	1			1									
13	イ 駐車場等	45	1	12	4	7	11	3	2	5									
14	倉庫	284	27	99	29	20	59	22	15	13	10	1	2	2		5			
15	その他の事業所	707	41	170	58	50	154	77	103	54	71	3	26	5	1	19	7	4	6
16	イ 複合用途(特定)	168	3	60	8	6	48	19	10	14	49	1	19	2	1	20	1	1	4
	ロ 複合用途(非特定)	110	6	43	7	4	25	15	4	6	31	1	11	2	1	13	1		2
17	文化財建造物	22	3	1	6	3	7	1		1	1					1			

防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）

（H29.3.31現在）

用途別		査察件数			防火管理者									消防計画					
					対象数			選任数			選任率（%）			計画届出数			届出率（%）		
		総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市
総数		700	346	354	845	403	442	754	359	395	89	89	89	717	352	365	85	87	83
1	イ 映画館等	2	2		2	2		2	2		100	100		2	2		100	100	
	ロ 集会場等	30	16	14	175	81	94	116	52	64	66	64	68	110	50	60	63	62	64
2	イ キャバレー等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
	ロ 遊技場等	3	2	1	3	2	1	3	2	1	100	100	100	3	2	1	100	100	100
	ニ カラオケボックス等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
3	イ 料理店等																		
	ロ 飲食店等	27	23	4	64	29	35	56	23	33	88	79	94	51	23	28	80	79	80
4	店舗等	63	52	11	98	64	34	92	61	31	94	95	91	88	58	30	90	91	88
5	イ 旅館・ホテル等	147	47	100	113	21	92	113	21	92	100	100	100	113	21	92	100	100	100
	ロ 共同住宅等	4	2	2	16	10	6	15	10	5	94	100	83	15	10	5	94	100	83
6	イ 病院等	19	8	11	18	14	4	18	14	4	100	100	100	18	14	4	100	100	100
	ロ グループホーム等	46	22	24	24	14	10	24	14	10	100	100	100	24	14	10	100	100	100
	ハ デイサービス・保育所	38	21	17	62	29	33	59	29	30	95	100	91	59	29	30	95	100	91
	ニ 幼稚園等	6	6		2	1	1	2	1	1	100	100	100	2	1	1	100	100	100
7	学校等	6	2	4	36	19	17	36	19	17	100	100	100	36	19	17	100	100	100
8	図書館等	3	3		11	8	3	10	8	2	91	100	67	10	8	2	91	100	67
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公衆浴場等	4	1	3	5	2	3	5	2	3	100	100	100	5	2	3	100	100	100
10	車両の停車場	1	1																
11	神社・寺院等	15	9	6	4	1	3	4	1	3	100	100	100	4	1	3	100	100	100
12	イ 工場等	88	31	57	33	24	9	32	23	9	97	96	100	29	23	6	88	96	67
	ロ 映画スタジオ等	1		1	1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
13	イ 駐車場等	7	1	6															
14	倉庫	17	8	9	2	1	1	2	1	1	100	100	100	2	1	1	100	100	100
15	その他の事業所	117	52	65	83	39	44	77	36	41	93	92	93	73	36	37	88	92	84
16	イ 複合用途（特定）	46	32	14	82	35	47	76	33	43	93	94	91	64	32	32	78	91	68
	ロ 複合用途（非特定）	6	1	5	7	4	3	7	4	3	100	100	100	5	3	2	71	75	67
17	文化財建造物	4	4		2		2	2		2	100		100	1		1	50		50

確認申請処理状況

(H29.3.31現在)

種別	総数	朝来市	養父市	同意	朝来市	養父市	指導による同意	朝来市	養父市	不同意	朝来市	養父市
総数	65	40	25	19	12	7	46	28	18			
《工事別》												
新築	47	31	16	17	12	5	30	19	11			
増築	15	6	9	2		2	13	6	7			
改築												
移転												
修繕												
模様替												
用途変更	3	3					3	3				
《構造別》												
耐火構造	5	3	2				5	3	2			
準耐火構造	14	9	5	3	3		11	6	5			
その他	46	28	18	16	9	7	30	19	11			

消防教室実施状況

(H29.3.31現在)

実施区分		対象数			参加人員			時間			消防職員		
		総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市
総数		276	154	122	14,340	7,645	6,695	384:05	192:40	191:25	785	450	335
地区		49	34	15	2,952	1,924	1,028	49:25	33:20	16:05	80	49	31
婦人クラブ													
老人クラブ		2	1	1	50	30	20	2:30	1:30	1:00	2	1	1
PTA		20	10	10	751	380	371	29:05	11:50	17:15	41	18	23
学校		69	32	37	5,504	2,603	2,901	114:20	45:20	69:00	246	128	118
幼・保育所		32	22	10	1,590	1,036	554	33:45	24:55	8:50	155	112	43
事業所	公共施設	14	8	6	327	236	91	18:25	9:25	9:00	30	18	12
	病院・福祉施設	38	22	16	1,444	782	662	31:05	22:20	8:45	102	69	33
	旅館・ホテル	8	4	4	160	63	97	12:40	6:10	6:30	16	7	9
	店舗等	10	8	2	240	219	21	13:40	12:50	0:50	24	19	5
	工場等	14	8	6	429	295	134	19:40	10:00	9:40	30	18	12
消防団		8	2	6	192	58	134	24:00	6:00	18:00	30	8	22
その他		12	3	9	701	19	682	35:30	9:00	26:30	29	3	26

※普通救命講習会は含まない。(57頁参照)

危険物施設数及び立入検査回数

（H29.3.31現在）

危険物施設		総数	朝来市					養父市					立入検査回数	
			小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	朝来署	養父署
総数		330	162	39	74	28	21	168	63	28	12	65	99	131
製造所		3	2	2				1		1			2	1
貯蔵所	屋内貯蔵所	32	19	8	7	2	2	13	8	2	2	1	19	14
	屋外タンク貯蔵所	36	28	10	8	7	3	8	3			5	28	8
	屋内タンク貯蔵所	17	7	4	2	1		10	7	1		2	7	10
	地下タンク貯蔵所	102	34	4	21	6	3	68	16	8	3	41	4	49
	簡易タンク貯蔵所	1	1			1								
	移動タンク貯蔵所	23	12	1	3	3	5	11	5	3		3	11	11
	屋外貯蔵所	4	4	2	2									
取扱所	給油取扱所	49	23	2	13	4	4	26	13	6	3	4	24	27
	一般取扱所	63	32	6	18	4	4	31	11	7	4	9	4	11

危険物施設設置許可数及び変更許可の状況

（H29.3.31現在）

危険物施設	総数	変更許可										設置許可	
		構造に関するもの		付属機器に関するもの		配管に関するもの		タンクに関するもの		その他			
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総数	19	1		5	2	4	1		2		1	2	1
製造所	3			1	2								
屋内貯蔵所													
屋外タンク貯蔵所	1					1							
屋内タンク貯蔵所	1					1							
地下タンク貯蔵所	4					1	1		2				
簡易タンク貯蔵所													
移動タンク貯蔵所	2										1	1	
屋外貯蔵所													
給油取扱所	3	1				1							1
一般取扱所	5			4								1	

市別・数量別危険物施設数

（H29.3.31現在）

危険物施設	総数	5倍以下		5倍を超え10倍以下		10倍を超え50倍以下		50倍を超え100倍以下		100倍を超え200倍以下		200倍を超えるもの	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総数	330	76	51	33	45	29	53	7	9	10	7	7	3
製造所	3							2	1				
貯蔵所	215	59	36	22	35	21	36	1	3	2			
屋内貯蔵所	32	11	5	5	4	2	2		2	1			
屋外タンク貯蔵所	36	7	2	6		13	6	1		1			
屋内タンク貯蔵所	17	4	4	3	6								
地下タンク貯蔵所	102	22	14	8	25	4	28		1				
簡易タンク貯蔵所	1	1											
移動タンク貯蔵所	23	12	11										
屋外貯蔵所	4	2				2							
取扱所	112	17	15	11	10	8	17	4	5	8	7	7	3
給油取扱所(営業用)	33		1					3	4	8	7	7	3
給油取扱所(自家用)	16	3			2	2	9						
一般取扱所	63	14	14	11	8	6	8	1	1				

市別・類別危険物施設数

（H29.3.31現在）

危険物施設	総数	1類		2類		3類		4類		5類		6類		混在	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総数	330				1			160	164	1	1			1	2
製造所	3							2							1
貯蔵所	215				1			104	108		1			1	
屋内貯蔵所	32				1			18	11		1			1	
屋外タンク貯蔵所	36							28	8						
屋内タンク貯蔵所	17							7	10						
地下タンク貯蔵所	102							34	68						
簡易タンク貯蔵所	1							1							
移動タンク貯蔵所	23							12	11						
屋外貯蔵所	4							4							
取扱所	112							54	56	1					1
給油取扱所(営業用)	33							18	15						
給油取扱所(自家用)	16							5	11						
一般取扱所	63							31	30	1					1

各種届出等受理状況

（H29.3.31現在）

届出別		総数	朝来市	養父市
防火管理者選任(解任)届出書		131	70	61
消防計画届出書		187	97	90
消防用設備等着工届出書		79	47	32
消防用設備等工事計画届出書		49	32	17
消防用設備等設置届出書		180	117	63
消防用設備等緩和願		3	3	
消防用設備等点検結果報告書		561	295	266
防火対象物定期点検結果報告書		47	27	20
防火自主点検結果報告書		2		2
防火対象物使用開始届出書		73	44	29
火を使用する設備等の設置届出書	熱風炉			
	炉･かまど	5	4	1
	ボイラー･給湯湯沸設備	16	5	11
	乾燥設備	1		1
	サウナ設備			
	温風暖房機	3		3
電気設備設置届出書	変電設備	19	16	3
	発電設備	6	3	3
	蓄電池設備	6	4	2
	ネオン管灯設備			
劇場等の裸火使用許可申請書		12	10	2
総数		1,380	774	606

警　防　編

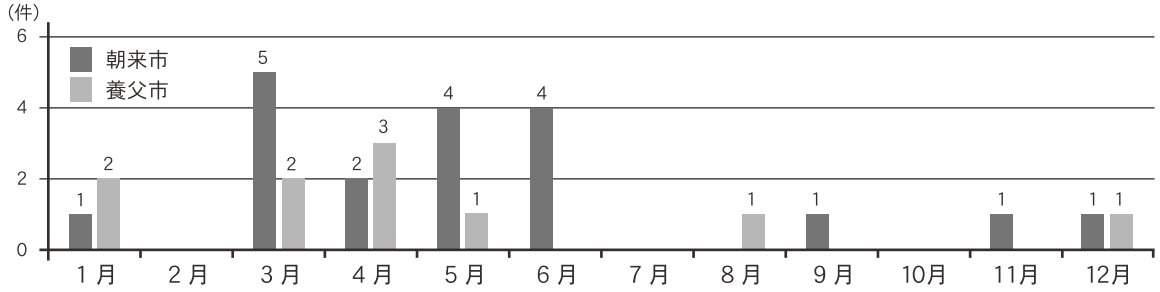
年次別火災発生状況

区分＼年別			平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
出火件数	総数		37	36	32	31	29
	朝来市	小計	19	23	19	18	19
		建物火災	12	7	10	9	6
		林野火災	2	3	1	1	1
		車両火災	1	2		1	2
		その他の火災	4	11	8	7	10
	養父市	小計	18	13	13	13	10
		建物火災	13	4	4	8	3
		林野火災		2			1
		車両火災	3	2	2	1	1
		その他の火災	2	5	7	4	5
焼損棟数	総数		32	14	23	26	9
	朝来市	小計	15	9	11	10	6
		全焼	3	4	3	3	3
		半焼	2	1	1		
		部分焼	4		5	5	2
		ぼや	6	4	2	2	1
	養父市	小計	17	5	12	16	3
		全焼	3	2	9	8	
		半焼	5	1		1	
		部分焼	3	2		4	
		ぼや	6		3	3	3
焼損面積	総数	建物【㎡】	1,924	967	1,466	5,824	685
		林野(a)	3	33	34	3	34
	朝来市	建物【㎡】	754	595	423	4,001	685
		林野(a)	3	26	34	3	10
	養父市	建物【㎡】	1,170	372	1,043	1,823	
		林野(a)		7			24

区分			年別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
り災世帯	総数			18	4	9	12	7
	朝来市	小計		8	3	6	2	4
		全損		1	2	1	1	2
		半損		1				
		小損		6	1	5	1	2
	養父市	小計		10	1	3	10	3
		全損		3		1	3	
		半損		3	1			
		小損		4		2	7	3
り災人員	総数			54	7	20	32	10
	朝来市			23	5	12	4	6
	養父市			31	2	8	28	4
損害額（千円）	総額			144,098	38,753	59,814	440,766	27,789
	朝来市	小計		70,172	34,957	12,445	403,435	26,408
		建物		70,128	33,621	11,212	401,050	26,169
		林野			556	453		
		車両		37	190	2	2,384	238
		その他		7	590	778	1	1
	養父市	小計		73,926	3,796	47,369	37,331	1,381
		建物		73,405	3,404	46,318	37,079	28
		林野			30			440
		車両		521	273	1,046	250	870
		その他			89	5	2	43
死傷者	総数	死者		3		1	4	1
		負傷者		8	4	5	7	3
	朝来市	死者		1		1		1
		負傷者		3	3	2	4	2
	養父市	死者		2			4	
		負傷者		5	1	3	3	1

月別火災発生状況

種別＼月別		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		29	3		7	5	5	4		1	1		1	2
朝来市	小計	19	1		5	2	4	4			1		1	1
	建物火災	6			1	2		1					1	1
	林野火災	1					1							
	車両火災	2			1			1						
	その他の火災	10	1		3		3	2			1			
養父市	小計	10	2		2	3	1			1				1
	建物火災	3	1		1									1
	林野火災	1				1								
	車両火災	1	1											
	その他の火災	5			1	2	1			1				

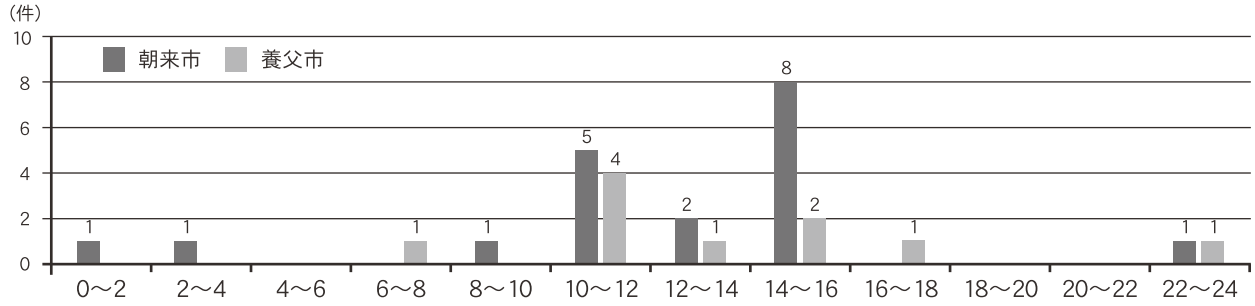


曜日別火災発生状況

種別＼曜日別		総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		29	6	2	3	5	5	2	6
朝来市	小計	19	5	1	2	1	4	1	5
	建物火災	6	1		1		2		2
	林野火災	1		1					
	車両火災	2					1		1
	その他の火災	10	4		1	1	1	1	2
養父市	小計	10	1	1	1	4	1	1	1
	建物火災	3			1	1			1
	林野火災	1		1					
	車両火災	1						1	
	その他の火災	5	1			3	1		

時間別火災発生状況

種別＼時間別		総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総数		29	1	1		1	1	9	3	10	1			2
朝来市	小計	19	1	1			1	5	2	8				1
	建物火災	6	1	1			1	1		2				
	林野火災	1								1				
	車両火災	2						1						1
	その他の火災	10						3	2	5				
養父市	小計	10				1		4	1	2	1			1
	建物火災	3				1					1			1
	林野火災	1						1						
	車両火災	1						1						
	その他の火災	5						2	1	2				



使用した消防水利

消防水利	平成２８年					平成２７年
	総数	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	
総数	19	5		2	12	17
自然水利	5				5	4
防火水槽	1				1	2
消火栓	8	4			4	7
積載水等	5	1		2	2	4

（事後聞知６件及び、放水なしの４件は除く）

覚知から現場到着までの所要時間

地区別＼時間別		総　数	5分未満	5～10分	11～15分	16～20分	20分以上	平均(分)
総　数		23	1	8	10	2	2	12.8
朝来市	小　計	15		6	7	1	1	12
	生　野	2		2				9
	和田山	8		4	3		1	12.4
	山　東	3			2	1		13.7
	朝　来	2			2			13
養父市	小　計	8	1	2	3	1	1	13.5
	八　鹿	2		1	1			11
	養　父	2	1			1		10.5
	大　屋	2		1	1			10
	関　宮	2			1		1	22.5

（事後聞知６件除く）

放水開始から鎮火までの所要時間

地区別＼時間別		総　数	5分以内	6分～10分	11分～20分	21分～30分	31分～40分	41分～50分	51分～60分	61分以上	平均(分)
総　数		19	2	6	6	1	1			3	30.7
朝来市	小　計	13	1	4	6					2	36.4
	生　野	2		1						1	60
	和田山	7	1	2	4						12.4
	山　東	2			1					1	64
	朝　来	2		1	1						9
養父市	小　計	6	1	2		1	1			1	25
	八　鹿	2		2							8
	養　父	2	1			1					17
	大　屋	2					1			1	50
	関　宮										

（事後聞知６件及び、放水なしの４件は除く）

出　火　原　因

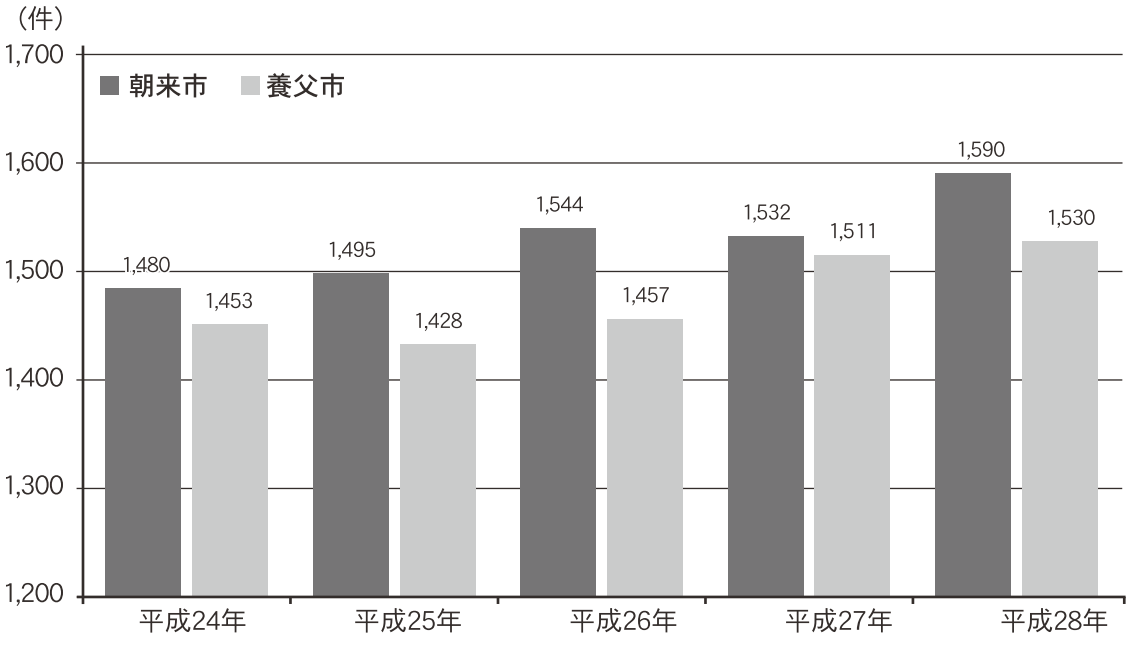
区分		平成28年					平成27年				
		総数	建物	林野	車両	その他	総数	建物	林野	車両	その他
総数		29	9	2	3	15	31	17	1	3	10
裸火	タバコ						1	1			
	虫焼火	1				1					
	焼却火	10		1		9	7	1			6
	マッチ	1			1						
	消えてない薪	1	1								
人的	火あそび						1	1			
	放火(放火の疑い)	1				1					
石油・ガス類	ストーブ										
	風呂かまど	1	1								
	石油機器										
	ガス機器										
	こんろ	2	2								
電気関係	ストーブ	1	1								
	電気装置						2	2			
	制御盤										
	配線等						1	1			
車両	ブレーキ						1			1	
	エンジン										
	排気管						1			1	
	その他	1			1		1			1	
その他	金属と金属の衝撃火花						1	1			
	列車ブレーキの火花	2				2	2				2
	煙突						1	1			
	焼却炉	1	1								
	こんろ(練炭)						1	1			
	金属粉										
	スプレー缶の過熱										
	不明	6	2	1	1	2	8	7	1		
	その他	1	1				3	1			2

用途別火災発生状況

用途別＼区分		火災発生件数（件）	焼損面積 建物 床面積（㎡）	焼損面積 建物 表面積（㎡）	損害額（千円）	焼損棟数（棟）	死傷者 死者（人）	死傷者 負傷者（人）
総数		29	685	1	27,789	9	1	3
建物火災	住宅	8	658	1	25,695	8	1	2
	遊技場							
	飲食店							
	店舗							
	旅館・ホテル							
	病院・福祉施設							
	学校							
	神社・寺院							
	工場・作業場							
	倉庫							
	車庫							
	養鶏舎・養畜舎							
	事務所・官公署							
	その他	1	27		502	1		
林野火災		2			440			
車両火災		3			1,108			
その他の火災	田畑	4			13			1
	空地	4						
	軌道敷	2			1			
	河川敷	2						
	その他	3			30			

年次別救急発生状況

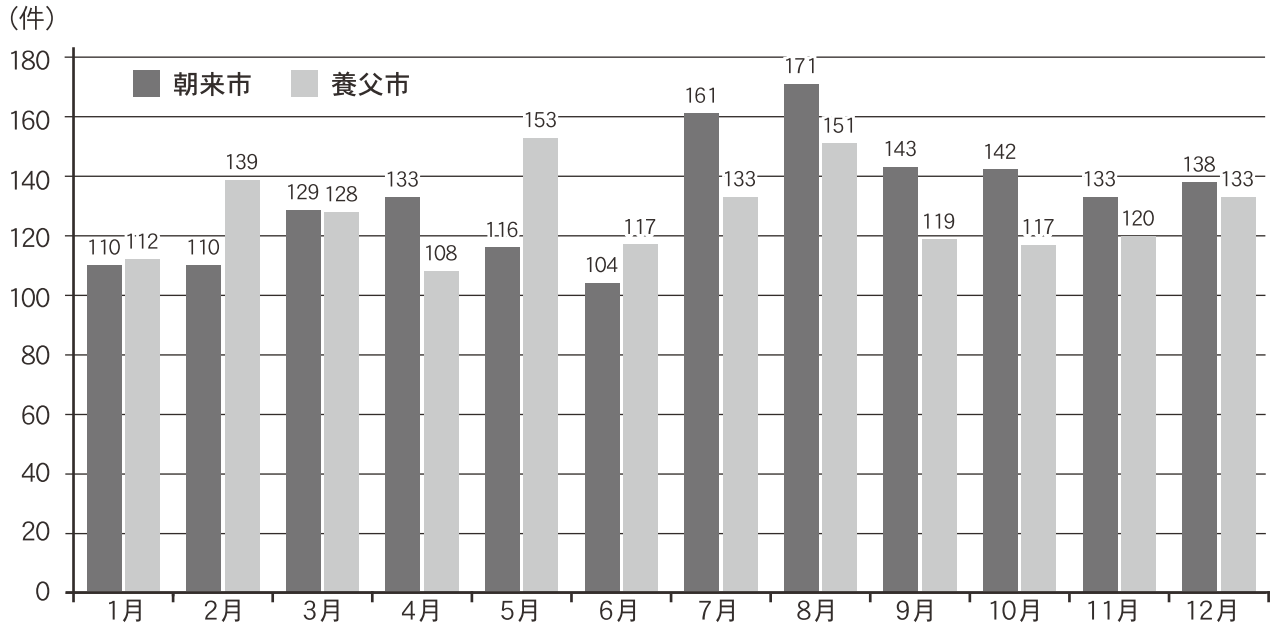
種別＼年別		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
総数		2,935	2,929	3,006	3,046	3,123
朝来市	小計	1,480	1,495	1,544	1,532	1,590
	交通事故	142	179	155	155	140
	一般負傷	254	219	235	262	250
	急病	903	909	970	898	997
	転院搬送	111	109	94	136	102
	その他	70	79	90	81	101
養父市	小計	1,453	1,428	1,457	1,511	1,530
	交通事故	102	111	121	110	122
	一般負傷	183	206	271	240	241
	急病	765	795	793	845	869
	転院搬送	300	208	167	204	203
	その他	103	108	105	112	95
管外	小計	2	6	5	3	3



（管外３件を除く）

月別救急発生状況

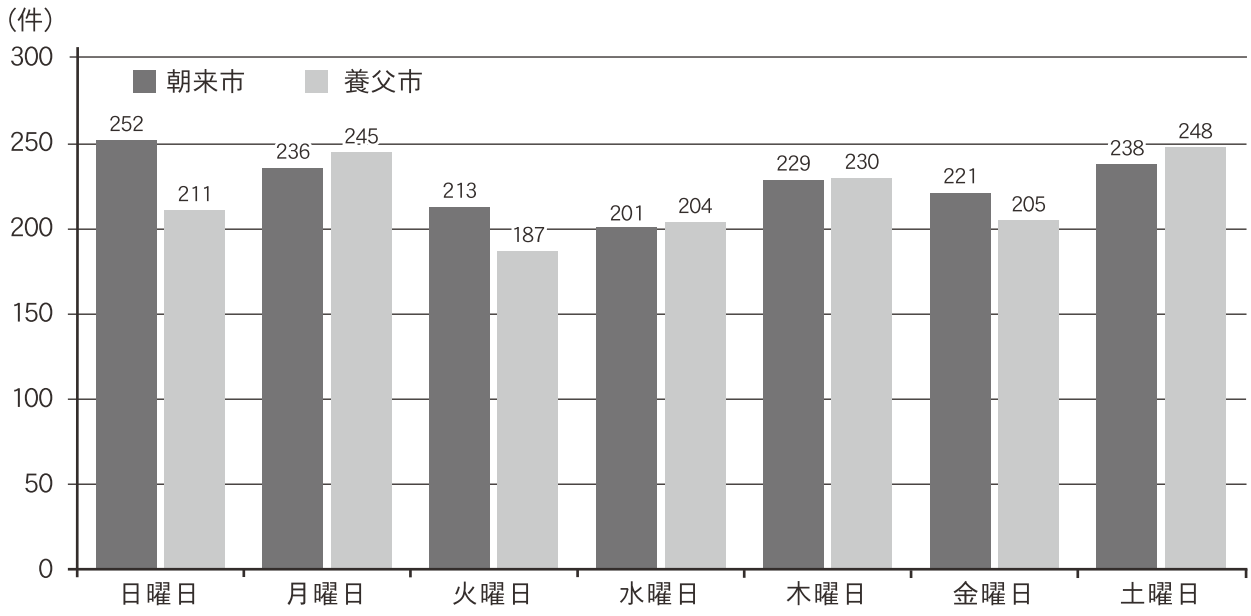
種別＼月別		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		3,123	222	249	257	241	269	221	296	323	262	259	253	271
朝来市	小計	1,590	110	110	129	133	116	104	161	171	143	142	133	138
	交通事故	140	7	13	7	18	10	15	15	17	8	10	10	10
	一般負傷	250	14	9	26	28	20	8	26	24	21	29	20	25
	急病	997	84	67	83	75	67	66	100	106	99	83	79	88
	転院搬送	102	1	16	4	6	9	9	8	12	8	10	9	10
	その他	101	4	5	9	6	10	6	12	12	7	10	15	5
養父市	小計	1,530	112	139	128	108	153	117	133	151	119	117	120	133
	交通事故	122	7	17	5	4	8	8	9	22	14	8	6	14
	一般負傷	241	19	24	16	12	26	15	18	26	16	27	22	20
	急病	869	64	75	74	58	91	77	80	75	70	63	72	70
	転院搬送	203	19	12	26	23	16	12	15	15	12	15	16	22
	その他	95	3	11	7	11	12	5	11	13	7	4	4	7
管外	小計	3							2	1				



（管外３件を除く）

曜日別救急発生状況

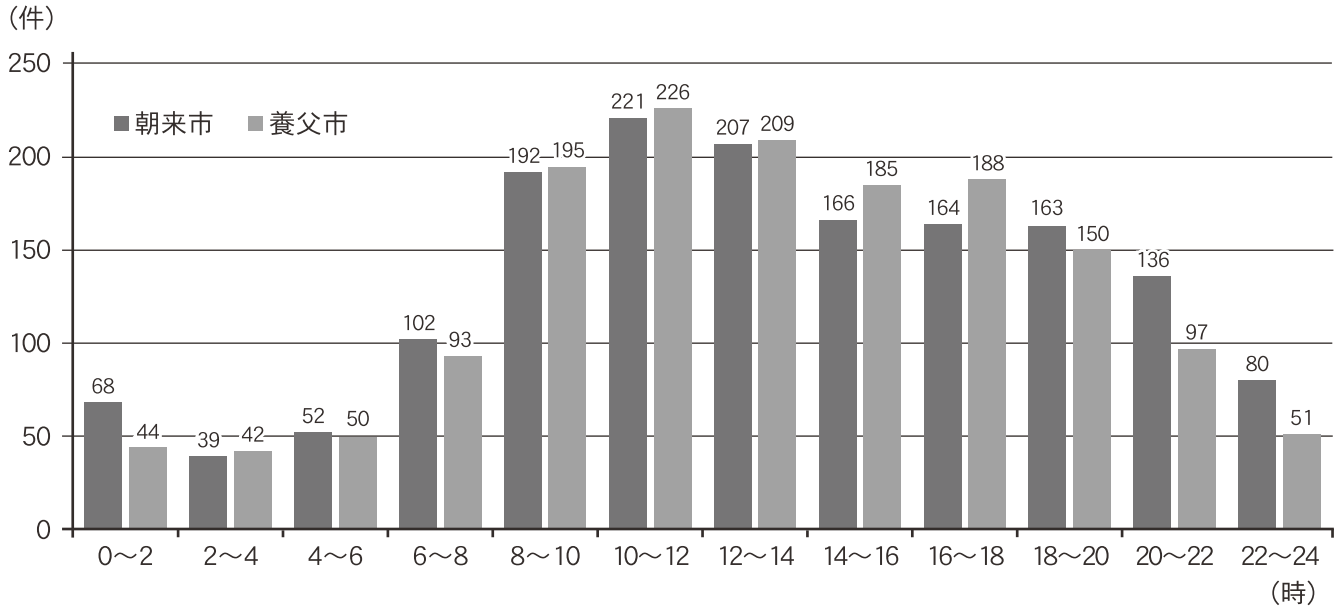
種別＼曜日別		総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		3,123	463	483	400	405	460	426	486
朝来市	小計	1,590	252	236	213	201	229	221	238
	交通事故	140	28	32	23	14	13	14	16
	一般負傷	250	41	40	30	27	31	45	36
	急病	997	153	133	132	135	155	134	155
	転院搬送	102	7	18	13	16	19	17	12
	その他	101	23	13	15	9	11	11	19
養父市	小計	1,530	211	245	187	204	230	205	248
	交通事故	122	19	23	12	13	26	13	16
	一般負傷	241	40	42	33	26	26	35	39
	急病	869	127	135	99	128	132	110	138
	転院搬送	203	12	30	27	34	31	32	37
	その他	95	13	15	16	3	15	15	18
管外	小計	3		2			1		



（管外３件を除く）

時間別救急発生状況

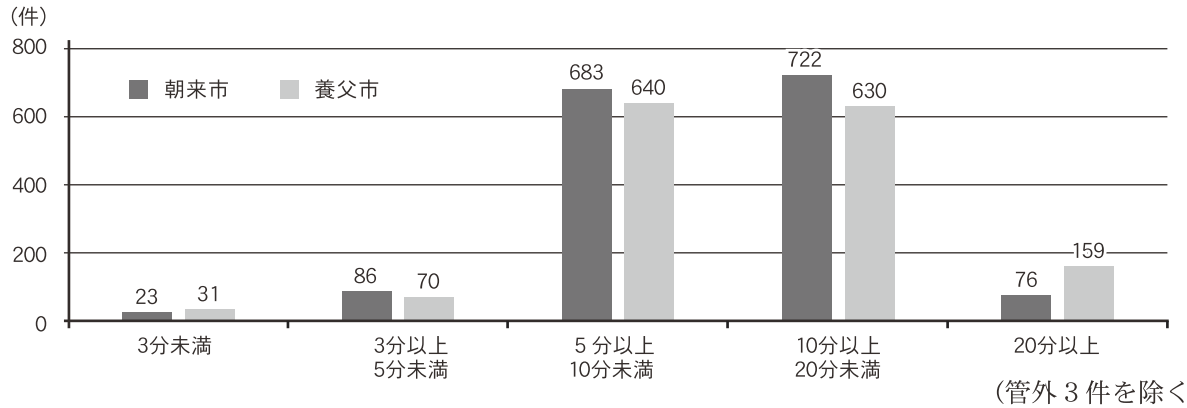
種別＼時間別		総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総数		3,123	112	81	102	197	387	447	416	351	352	314	233	131
朝来市	小計	1,590	68	39	52	102	192	221	207	166	164	163	136	80
	交通事故	140	3	1	4	1	19	22	19	18	29	10	7	7
	一般負傷	250	6	2	9	18	34	30	19	33	38	28	23	10
	急病	997	57	30	37	79	113	117	131	92	77	112	97	55
	転院搬送	102			1	3	12	30	23	8	11	8	4	2
	その他	101	2	6	1	1	14	22	15	15	9	5	5	6
養父市	小計	1,530	44	42	50	93	195	226	209	185	188	150	97	51
	交通事故	122	3	1	3	10	8	28	15	14	26	8	6	
	一般負傷	241	3	6	6	10	37	33	32	43	31	25	11	4
	急病	869	35	34	39	70	115	97	102	89	90	89	67	42
	転院搬送	203	3	1	2	2	17	54	48	16	25	22	9	4
	その他	95				1	18	14	12	23	16	6	4	1
管外	小計	3				2						1		



(管外３件を除く)

覚知から現場到着までの所要時間状況

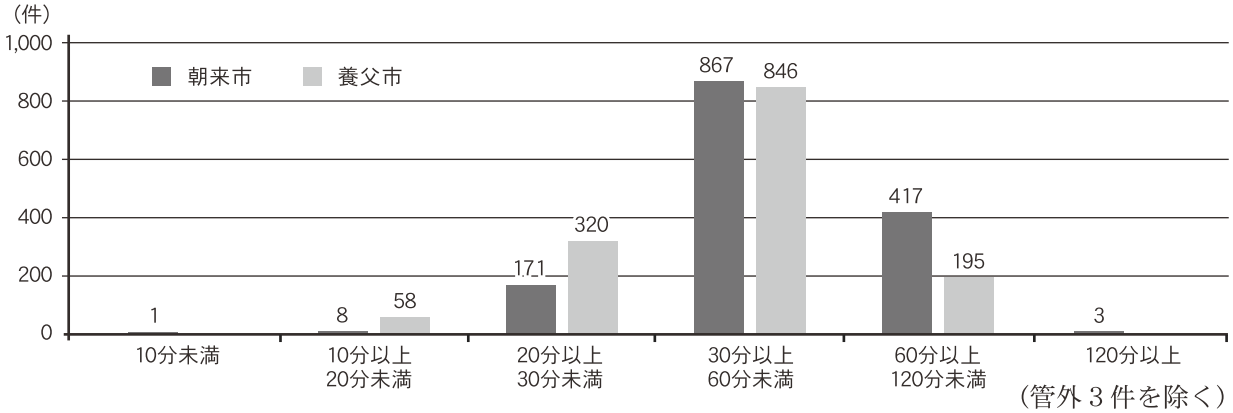
時間／市別	総数	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	現場到着平均所要時間(分)
総数	3,123	54	156	1,323	1,355	235	10.6
朝来市	1,590	23	86	683	722	76	10.1
養父市	1,530	31	70	640	630	159	11.2
管外	3				3		15.7



(管外3件を除く)

覚知から医療機関収容までの所要時間状況

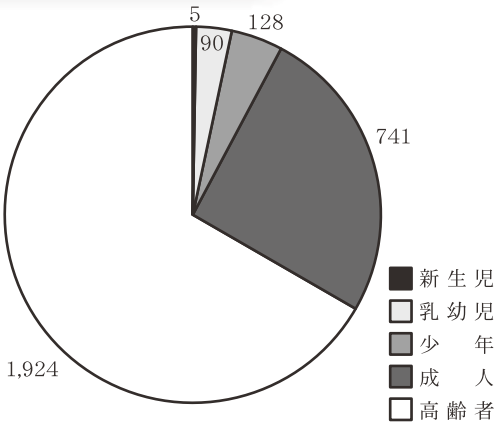
時間／市別	総数	10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	病院収容平均所要時間(分)
総数	2,888	1	66	491	1,715	612	3	45.9
朝来市	1,467	1	8	171	867	417	3	50.2
養父市	1,419		58	320	846	195		41.5
管外	2				2			40.5



(管外3件を除く)

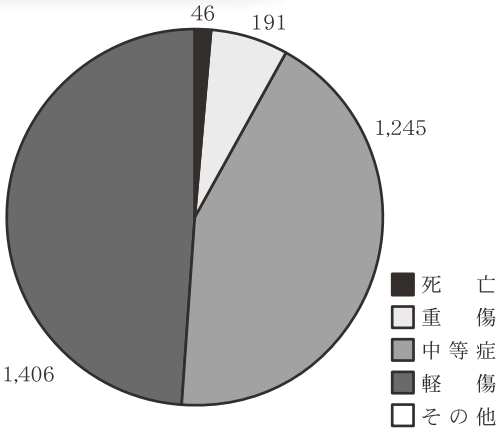
年齢区分別搬送人員

種別＼区分	総　数	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
総　　数	2,888	5	90	128	741	1,924
交通事故	259		4	21	141	93
一般負傷	469		24	31	87	327
急　　病	1,769		61	49	406	1,253
転院搬送	303	5	1	4	55	238
そ の 他	88			23	52	13



傷病程度別搬送人員

種別＼区分	総　数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総　　数	2,888	46	191	1,245	1,406	
交通事故	259	1	11	66	181	
一般負傷	469	6	33	192	238	
急　　病	1,769	36	119	735	879	
転院搬送	303	1	23	223	56	
そ の 他	88	2	5	29	52	



※　死　亡…初診時、死亡と診断されたもの
　　重　症…３週間以上の入院加療を必要とするもの
　　中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの
　　軽　症…入院加療を必要としないもの
　　その他…医師の診断のないもの

ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況

種別＼月別	総　数	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月
総　　数	1,372	107	127	106	89	104	108	140	144	106	114	103	124
交通事故	109	8	17	5	7	7	9	9	18	7	9	5	8
一般負傷	112	2	8	4	7	10	5	14	16	5	14	12	15
急　　病	1,067	97	98	86	65	77	90	112	102	90	79	77	94
転院搬送	47		4	7	4	5	3	2	3	1	9	5	4
そ の 他	37			4	6	5	1	3	5	3	3	4	3

事故種別・収容医療機関状況

医療機関＼種別			総数	比率(%)	交通	一般負傷	急病	転院搬送	その他
総数			2,888	100	259	469	1,769	303	88
管内	小計		1,471	51.0	104	321	905	94	47
	病院	八鹿病院	1,207	41.8	87	228	773	86	33
		朝来医療センター	250	8.7	17	90	123	6	14
		その他の病院	6	0.2		1	5		
	診療所等		7	0.2		2	4	1	
	その他		1	0.1				1	
管外	小計		1,417	49.0	155	148	864	209	41
	病院	豊岡病院(ドクターヘリ含む)	1,245	43.0	135	116	771	185	38
		神崎総合病院	120	4.1	17	27	70	4	2
		その他の病院	51	1.8	3	5	22	20	1
	診療所等		1	0.1			1		

※朝来医療センター(平成28年5月開院)の数値には、統合前の和田山・梁瀬医療センターへの搬送も含んでいます。

地域別・収容医療機関状況

医療機関＼市別		総数	朝来市	比率(%)	養父市	比率(%)	管外
総数		2,888	1,467	100	1,419	100	2
朝来市内医療機関	小計	254	235	16.0	19	1.4	
	朝来医療センター	250	232	15.8	18	1.3	
	その他の病院						
	診療所等	4	3	0.2	1	0.1	
	その他						
養父市内医療機関	小計	1,217	437	29.8	779	54.9	1
	八鹿病院	1,207	434	29.6	772	54.4	1
	その他の病院	6	2	0.1	4	0.3	
	診療所等	3	1	0.1	2	0.1	
	その他	1			1	0.1	
管外	小計	1,417	795	54.2	621	43.7	1
	豊岡病院(ドクターヘリ含む)	1,245	630	42.9	614	43.2	1
	神崎総合病院	120	120	8.2			
	その他の病院	51	44	3.0	7	0.5	
	診療所等	1	1	0.1			

※朝来医療センター(平成28年5月開院)の数値には、統合前の和田山・梁瀬医療センターへの搬送も含んでいます。

救急隊の行った応急処置状況

処置 / 種別	固定	酸素吸入	心肺蘇生	血圧測定	血中酸素	心電図	除細動	静脈路確保	薬剤投与	器具による気道確保	その他
総　数	392	849	54	2,750	2,804	2,507	5	89	14	49	5,321
交通事故	196	67	2	247	251	180		4	1	1	445
一般負傷	141	60	8	446	456	359	1	9	2	9	840
急　病	25	569	41	1,686	1,721	1,649	4	72	11	38	3,489
その他	30	153	3	371	376	319		4		1	547

普通救命講習実施状況

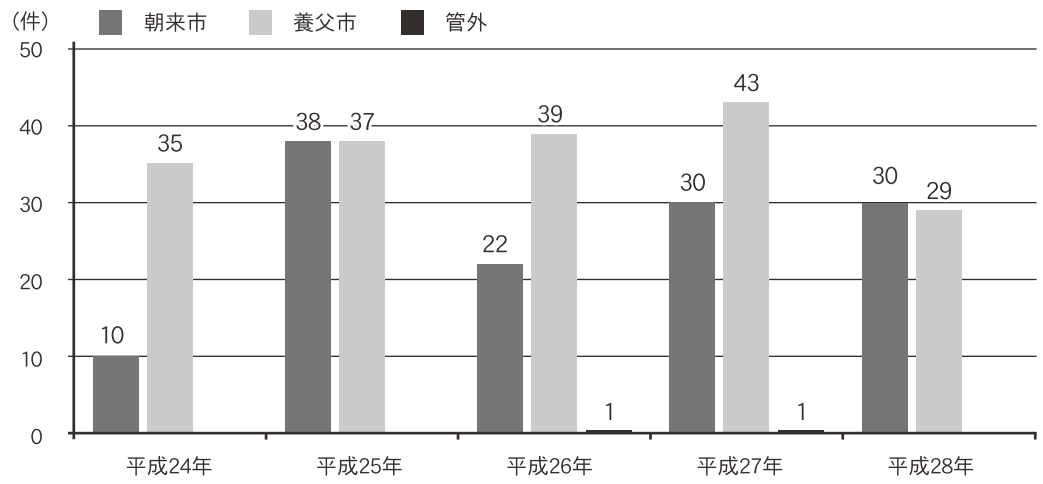
区　分	受講回数(回)	受講者数(人)
学校関係	16	340
事業所等	16	197
消防団	8	195
その他	12	137
総数	52	869





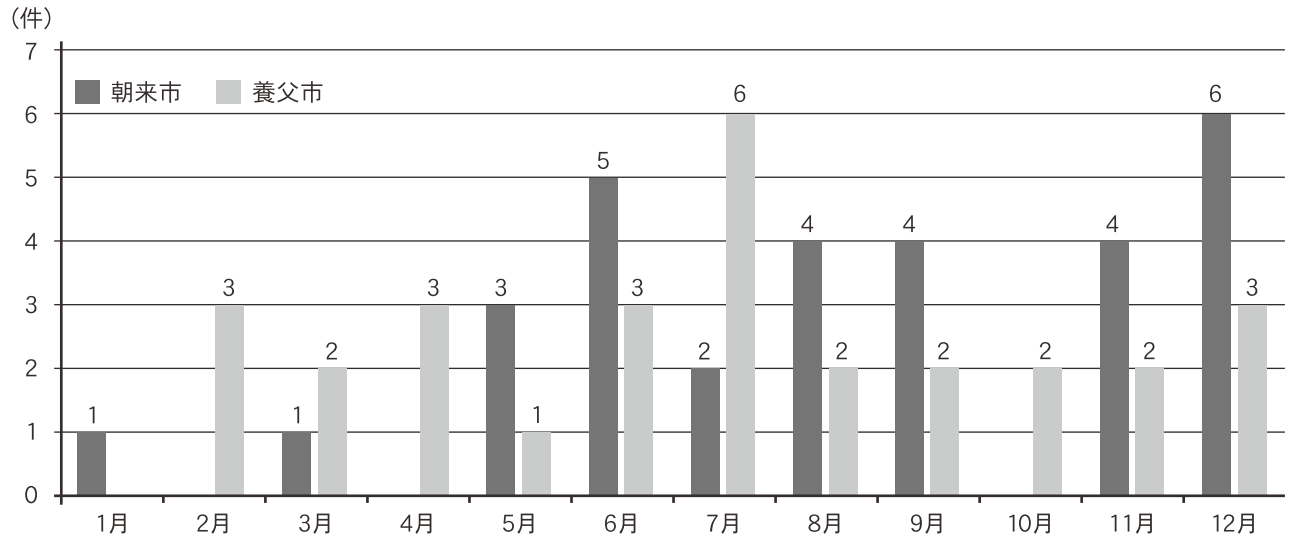
年次別救助発生状況

種別＼年別		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
総数		45	75	62	74	59
朝来市	小計	10	38	22	30	30
	火災					
	交通事故	5	28	16	18	15
	水難事故		1	2	2	
	自然災害					
	機械による事故		1		2	2
	建物等による事故		1			2
	ガス及び酸欠事故					
	破裂事故					
	その他	5	7	4	8	11
養父市	小計	35	37	39	43	29
	火災	4		1	3	
	交通事故	21	19	26	23	14
	水難事故	1	1		1	1
	自然災害		1			
	機械による事故	2		2		1
	建物等による事故				1	
	ガス及び酸欠事故					
	破裂事故					
	その他	7	16	10	15	13
管外	小計			1	1	



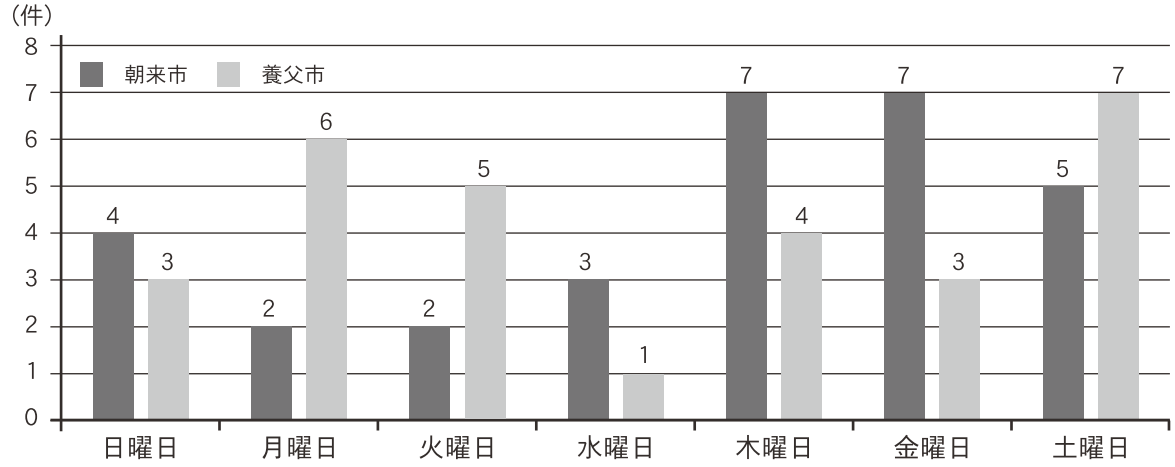
月別救助発生状況

種別＼月別		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		59	1	3	3	3	4	8	8	6	6	2	6	9
朝来市	小計	30	1		1		3	5	2	4	4		4	6
	火災													
	交通事故	15	1		1		1	4		1	1		1	5
	水難事故													
	自然災害													
	機械による事故	2							1		1			
	建物等による事故	2						1			1			
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	11					2		1	3	1		3	1
養父市	小計	29		3	2	3	1	3	6	2	2	2	2	3
	火災													
	交通事故	14		3	1			3		2	2		1	2
	水難事故	1							1					
	自然災害													
	機械による事故	1										1		
	建物等による事故													
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	13			1	3	1		5			1	1	1
管外	小計													



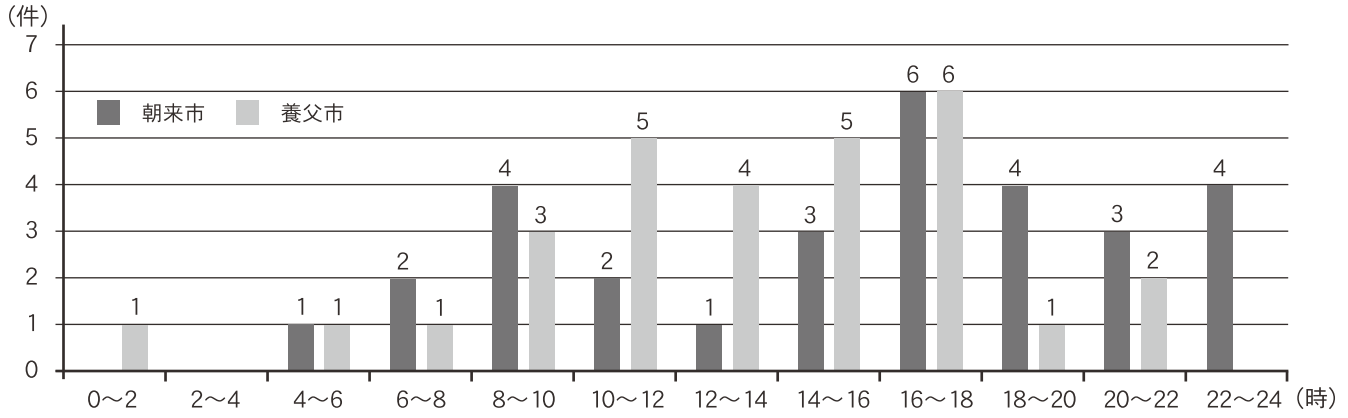
曜日別救助発生状況

種別＼曜日別		総　数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総　数		59	7	8	7	4	11	10	12
朝来市	小　計	30	4	2	2	3	7	7	5
	火　災								
	交通事故	15	2	1	1	3	3	2	3
	水難事故								
	自然災害								
	機械による事故	2						1	1
	建物等による事故	2			1			1	
	ガス及び酸欠事故								
	破裂事故								
	その他	11	2	1			4	3	1
養父市	小　計	29	3	6	5	1	4	3	7
	火　災								
	交通事故	14	1	4	2	1	2	1	3
	水難事故	1					1		
	自然災害								
	機械による事故	1						1	
	建物等による事故								
	ガス及び酸欠事故								
	破裂事故								
	その他	13	2	2	3		1	1	4
管外	小　計								



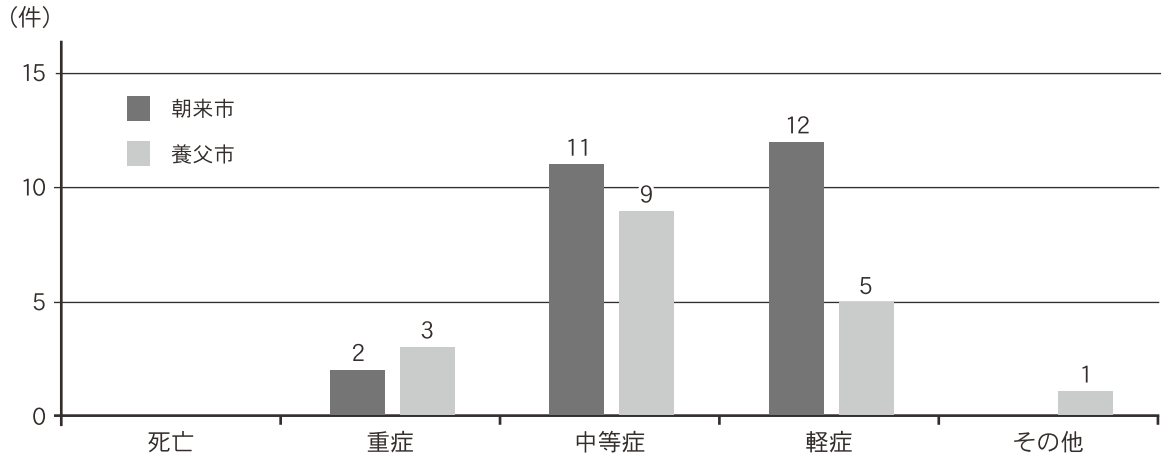
時間別救助発生状況

種別＼時間別		総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総数		59	1		2	3	7	7	5	8	12	5	5	4
朝来市	小計	30			1	2	4	2	1	3	6	4	3	4
	火災													
	交通事故	15					2	1		2	5	2	1	2
	水難事故													
	自然災害													
	機械による事故	2										1	1	
	建物等による事故	2												2
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	11			1	2	2	1	1	1	1	1	1	
養父市	小計	29	1		1	1	3	5	4	5	6	1	2	
	火災													
	交通事故	14	1		1	1	1	1	4		3	1	1	
	水難事故	1											1	
	自然災害													
	機械による事故	1						1						
	建物等による事故													
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	13					2	3		5	3			
管外	小計													



事故種別・傷病程度別状況

種別＼傷病程度		救助人員					
		総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総数		43		5	20	17	1
朝来市	小計	25		2	11	12	
	火災						
	交通事故	13		2	2	9	
	水難事故						
	風水害						
	機械による事故	2			1	1	
	建物等による事故	2			2		
	ガス及び酸欠事故						
	破裂事故						
	その他	8			6	2	
養父市	小計	18		3	9	5	1
	火災						
	交通事故	9		2	4	3	
	水難事故						
	風水害						
	機械による事故	1				1	
	建物等による事故						
	ガス及び酸欠事故						
	破裂事故						
	その他	8		1	5	1	1
管外	小計						



気象の状況

区　分		年　間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温(℃)	日平均	12.8	2.9	4.0	7.6	13.8	18.6	21.6	25.5	25.8)	22.5)	17.0	10.2	6.3
	日最高	30.7	8.1	9.3	13.6	20.2	25.5	26.3	30.7	31.6)	26.7)	22.1	15.2	11.5
	日最低	-1.0	-1.0	-0.4	2.4	7.5	12.2	17.7	21.8	21.9)	19.6)	12.9	6.5	2.5
風速 m/s	平 均	1.7	1.4)	1.6)	1.9	2.1	2.2	1.8	1.6	1.6	1.5	1.6	1.4	1.5
	最 大	12.1	7.8)	9.7)	7.9	12.1	10.2	9.0	7.4	7.8	6.8	10.4	6.7	10.5
降水量(mm)	降水量	1,706.5	95.5	97.5	61.0	141.0	94.5	168.0	137.5	173.5	393.0	104.0	77.5	163.5
	最大/日	111.0	40.0	20.0	26.5	42.5	56.5	27.0	29.5	60.0	111.0	40.0	15.0	42.5
	※1 降水日	142	11	12	7	10	6	17	13	9	18	8	14	17
雪	最深積雪(cm)	18	9	15	18									
	※2 降雪日	7	2	4	1									

※1　日降水量1㎜以上の日数　　※2　日降雪量合計3cm以上の日数

値欄の記号の説明

)	統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値(資料が欠けていない)と同等に扱います(準正常値)。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の80%を基準とします。

以上気象庁ホームページから引用　　観測地点:和田山

区　分		年　間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
相対湿度(%)	平 均	78.6	88.8	88.3	71.9	69.8	64.4	75.0	75.5	73.9	83.0	80.0	85.1	87.7
	最 高	99.0	98.9	99.0	97.4	96.8	94.9	94.7	94.1	95.1	95.7	97.3	97.4	97.6
	最 低	8.0	35.7	33.5	14.7	8.0	10.6	13.4	34.5	26.9	30.2	33.3	37.8	44.3
実効湿度(%)	平 均	78.7	88.8	89.4	72.8	69.5	64.3	74.3	76.1	74.1	81.7	80.3	84.9	87.6
	最 高	94.5	93.1	94.5	81.0	77.6	74.6	82.0	82.1	83.8	89.8	87.8	88.7	90.4
	最 低	52.3	81.8	78.0	64.3	60.8	52.3	61.5	71.3	68.5	68.2	74.3	81.2	83.9

消防本部観測値

消防用機器の配置状況

平成29年４月１日現在

	名　　称	朝来署	養父署
通信設備	消防緊急通信指令施設I型	1	
	119番専用回線(携帯等含)	8回線	
	ＣＡＴＶ119番回線	1回線	
	119番ＦＡＸ受信装置	1	
	消防無線陸上移動局/車載	14	11
	消防無線陸上移動局/携帯	28	25
	フェニックス防災システム	1	
	告知放送設備	1	1
	防災無線設備	1	
	簡易車両動態システム	6	4
	消防職団員参集メールシステム	1	
消防資機材	ホース(65mm)	105	113
	ホース(50mm)	141	156
	Ｃ級可搬式ポンプ	2	1
	Ｄ級可搬式ポンプ		1
	ジェットシューター	26	25
	高発泡器	1	1
	組立式布水槽	3	3
	ＣＡＦＳ薬剤		100ℓ
	熱画像直視装置	1	1
救急資機材	ＡＥＤ(自動体外式除細動器)	7	2
	半自動除細動器	4	3
	患者監視装置	3	3
	パルスオキシメーター	5	3
	喉頭鏡	6	6
	気管挿管セット	4	3
	呼吸管理器具	6	3
	自動式心マッサージ器	2	3
	陰圧式固定具	4	4
	スクープストレッチャー	5	4
	バックボード	7	6
	脊柱固定器具	7	6
	在宅療法セット	3	3
	高度救急シミュレーター	2	2
	静脈注射訓練モデル	1	1
	心肺蘇生訓練用人形	17	19
	ＡＥＤトレーナー	13	7
	ショートボード	1	2

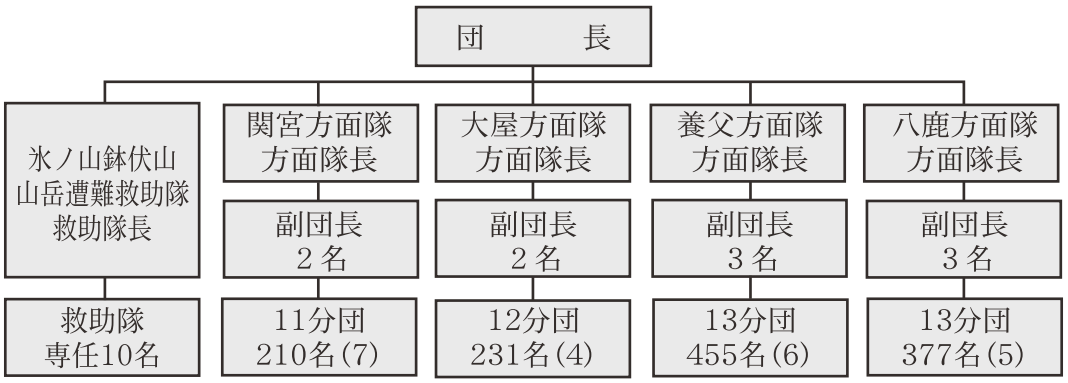
	名　　称	朝来署	養父署
救助資機材	耐熱服	2	2
	空気呼吸器	18	14
	エンジンカッター	2	2
	エアーカッター	2	1
	エッジローラー	2	2
	チルホール	4	2
	チェーンソー	3	2
	ルーカスレスキューツール	1式	1式
	マット型空気ジャッキ	1	1
	救助マット	1	1
	緩降機	1	1
	送排風機	1	1
	救命索発射銃	1	1
	舟型担架	2	2
	スケッドストレッチャー	3	2
	ガス溶断機	1	1
	エアーソー	1	1
	グラスソー	2	1
	化学防護服	3	
	防護服	5	6
	防毒マスク	14	14
	マンホール救助器具	1式	1式
	電動鉄線カッター		1
	ガス測定器	2	2
	車両移動器具		2
	削岩機	1	1
	酸素呼吸器		2
	簡易画像探索器	1	1
	距離測定器		1
	ＧＰＳハンディナビ	1	3
	ハンマードリル		1
	セイバーソー		1
	エアーテント	2式	1式
	ウェットスーツ一式	5	6
	救命胴衣	24	42
	救命浮輪	4	5
	救助用ボート	1	1
	船外機	1	1

各 種 団 体

消　防　団

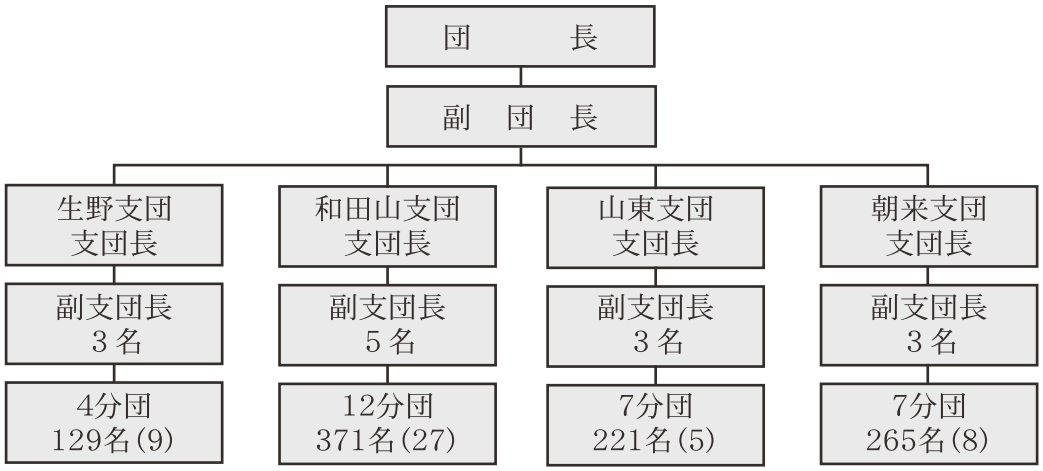
平成29年４月１日現在

● 養父市消防団組織図　（総員1,299名）



※氷ノ山鉢伏山山岳遭難救助隊は各方面隊との兼任を含む　　(　)内は女性団員

● 朝来市消防団組織図　（総員1,006名）



(　)内は女性団員

● 消防団との連携

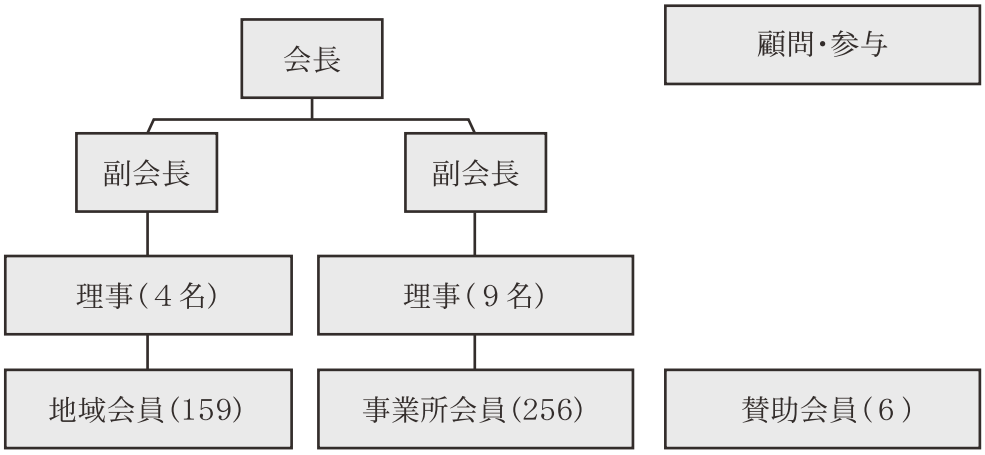
消防団は災害時にいかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に消防活動ができるように、消防署との実践的な合同訓練や研修を意欲的に取り組んでいます。

平成28年度消防団との合同訓練内容

養 父 市	11月13日	大屋方面隊との合同消防訓練	大屋町宮垣
	3月　5日	八鹿方面隊との合同消防訓練	八鹿町上小田
朝 来 市	11月　6日	山東支団消防合同訓練	山東町森
	11月　9日	和田山支団夜間消防合同訓練	和田山町市御堂
	1月22日	赤淵神社文化財合同消防訓練	和田山町枚田
	3月 5日	朝来支団及び生野支団合同訓練	生野町真弓

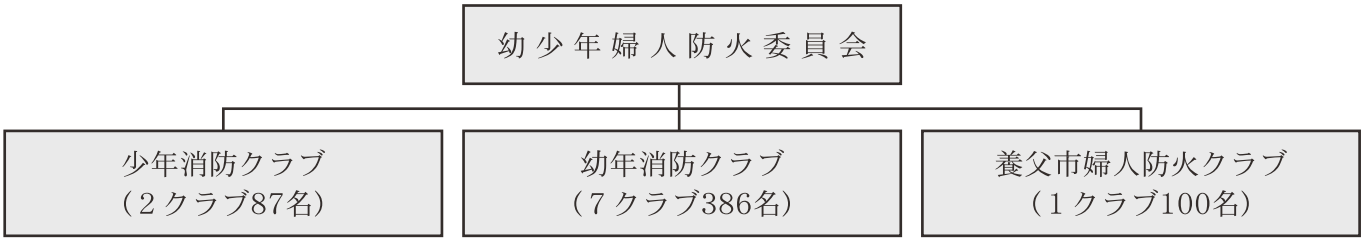
朝来市自主防災推進協議会の現況

協議会組織図　（平成29年4月1日現在）



養父市幼少年婦人防火委員会の現況

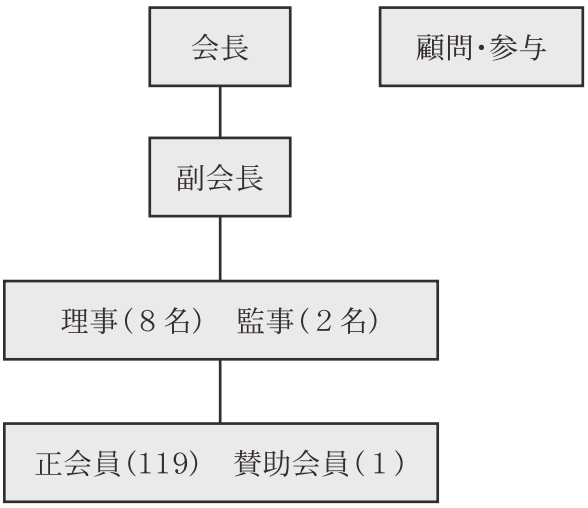
防火委員会組織図　（平成29年4月1日現在）



南但危険物安全協会の現況

（平成29年4月1日現在）

協会組織図





生野銀山坑道内（朝来市）



名草神社三重塔（養父市）

養父市・朝来市の安全をめざして

（住宅用火災警報器を設置しましょう）

消防年報　第５号

南但消防本部年報編集委員会

〒669-5261

兵庫県朝来市和田山町枚田436-1

ＴＥＬ　（０７９）６７２－０１１９

ＦＡＸ　（０７９）６７２－５０４６

消防本部ホームページアドレス

http://www.nantan.hyogo.jp/fire/

VEGETABLE OIL INK

「消防年報」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。